

Iwami Art Museum

平成26
[2014]
年度

年報

島根県立石見美術館

Annual Report April 2014- March 2015

目次 Contents

活動方針・活動内容	1
展覧会一覧	2
企画展	3
特別展	11
コレクション展	12
その他の展覧会	25
教育普及活動	26
ボランティア	28
連携事業	29
所蔵作品一覧	30
新収蔵作品一覧	44
所蔵作品貸出実績	45
入館者数一覧・ミュージアムパスポート会員数一覧	46
収支概要	47
鳥根県芸術文化センター条例	48
鳥根県立石見美術館管理規則	53
施設概要	56
運営組織体制	59
利用案内	60

島根県立石見美術館と島根県芸術文化センター

島根県芸術文化センターは、「島根県立石見美術館」と「島根県立いわみ芸術劇場」の複合施設です。この施設は、石見地域の芸術文化拠点として、美術や音楽、演劇などの分野が相互に協調し、誘発し合いながら、多様で質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供します。また、石見地域に育まれてきた文化を大切にしながら、新しい芸術文化の創造をめざします。

活動方針

- 1：芸術を身近に感じる仕組みづくり
- 2：芸術文化を通じたネットワークの支援・育成
- 3：非日常空間の提供
- 4：世界に目を向けた情報発信

島根県立石見美術館

- 1：幅広い視野で多彩な企画展を開催します。また、テーマ性をもった質の高い常設展示を行います。
- 2：地域や分野、年代にとらわれず、優れた国内外の作品を収集します。
- 3：美術作品の収集、および展示、保存、また教育普及に関する調査研究を行います。
- 4：美術に関する理解を深めるための講演会やワークショップなどの教育普及活動を行います。

島根県立いわみ芸術劇場

- 1：芸術文化を鑑賞する場として、また創造する場としての活動を行います。
- 2：優れた芸術文化に接することができるよう充実した自主事業を行います。
- 3：舞台芸術に関する研修機会を提供します。

展覧会一覧

	展示室	展覧会名	会期
企画展	展示室D	絵本原画展 きかんしゃトーマスとなかまたち	平成26年 5月24日～7月21日
	展示室D	美しい日本のデザイン Made in Japan 50's-60's	平成26年 8月2日～9月23日
	展示室D・C	藪内佐斗司彫刻展	平成26年 10月4日～11月17日
	展示室D・C	美少女の美術史	平成26年12月13日～ 平成27年2月16日
特別展	展示室A	益田家文書に見る 中世益田の館・城・湊	平成26年 10月15日～11月24日
	展示室B	出雲焼の輸出陶器	平成27年 1月28日～3月23日
コレクション展	展示室A	森村泰昌	平成26年 3月26日～5月19日
		花開くモダン アールデコの諸相	平成26年 5月21日～7月13日
		涼をもとめて	平成26年 7月17日～8月25日
		森を歩こう	平成26年 8月27日～10月12日
		写実表現の系譜	平成26年11月27日～ 平成27年1月19日
		あなたはどう見る?—よく見て話そう美術について	平成27年 1月21日～3月16日
	展示室B	宮芳平の銅版画	平成26年 4月2日～5月26日
		石見根付	平成26年 5月30日～8月25日
		モノクロ	平成26年 8月27日～10月20日
		鷗外博士の美術の箱	平成26年 10月22日～12月1日
		パリジェンヌの一日	平成26年12月3日～ 平成27年1月25日
	展示室C	石見の洋画	平成26年 4月23日～6月8日
		不思議のファッション	平成26年 6月12日～8月4日
		50-60年代ファッション	平成26年 8月7日～9月29日
		天と地—澄川喜一の彫刻	平成26年 11月21日～12月8日
ウィーンファッションと工芸		平成27年 2月19日～4月6日	
その他の展覧会	展示室D	第33回益田市美術展	平成26年 5月8日～5月11日
		第13回益田書道展	平成26年 11月22日～11月24日
		第47回島根県総合美術展(県展)移動展	平成26年 11月27日～11月30日
		全島根小中学校図画作品展 益田展	平成27年 2月27日～3月2日

企画展 絵本原画展 きかんしゃトーマスとなかまたち



ポスター



開幕セレモニー



内覧会



会場

展覧会名：企画展 絵本原画展 きかんしゃトーマスとなかまたち

会 期：平成26年5月24日(土)～7月21日(月・祝)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円

* ()内は20名以上の団体料金

*障害者手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、読売新聞社、日本海テレビ

企画制作：渋谷出版企画

協 賛：ヒット・エンタテインメント、ソニー・クリエイティブプロダクツ、ポプラ社、小学館

後 援：山口線SL運行対策協議会

内 容

子どものみならず大人にも根強い人気のある“きかんしゃトーマスとなかまたち”の絵本原画を紹介する展覧会。色鮮やかな手描き絵本原画およそ300点を中心に、テレビシリーズの撮影に使用された機関車の車輛モデル、原作者手描きの絵本の草稿や、写真などを展示した。未就学児無料を大きくうたい、展示室内には絵本を読む場所やトーマスの木製おもちゃ体験コーナー、写真撮影コーナー、さらにロビーには無料で楽しめるぬりえコーナーを設置するなど、小さい子ども連れの家族が訪れやすいよう配慮し会場づくりを行った。その効果か、これまで美術館に足を運んだことのない、若い子育て世代の来場が多くあった。また、前年の豪雨災害で不通となっていたJR山口線の復旧を応援する意味を含め、ポスター・チラシ等に「SL『やまぐち』号を応援しよう!」の文言を掲載し、山口線SL 運行対策協議会と連携しPR に努めた。

新聞、雑誌掲載

山陰キラリ春号No.30 展覧会告知記事

読売新聞5月5日 展覧会関連イベント記事 「ミニSL親子ら歓声」

山陰中央新報5月24日 展覧会開幕記事 きょうから絵本原画展 グラントワ 80人招き内覧会

朝日新聞5月24日 展覧会開幕記事 きかんしゃトーマスの原画展

読売新聞5月24日 展覧会開幕記事 色彩豊か「きかんしゃトーマス」 益田 きょうから絵本原画展

読売新聞5月27日 作品紹介 廣田 理紗「トーマスと貨車」

読売新聞5月28日 作品紹介 廣田 理紗「なさないヘンリー」

読売新聞5月29日 作品紹介 廣田 理紗「ゆうめいになったゴードン」

読売新聞5月30日 作品紹介 廣田 理紗「ビルとベン」

読売新聞5月31日 印刷物紹介 廣田 理紗「島を探検している気分 こども用鑑賞ガイド ソー島マップ」

読売新聞5月30日 関連イベント紹介記事 「紙でトーマス模型」

中国新聞6月5日 展覧会紹介記事 「トーマスに会えるよ 益田で絵本原画展」

読売新聞7月20日 展覧会紹介記事 「トーマス展 来場者1万人」

印 刷 物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A 4部分折り変形 3種

子供のための鑑賞ガイド：B 3つ折り・付録シール

3種類の先行告知ハガキ

(デザイン：すべて野村デザイン制作室)



会場



会場



ぬりえコーナー



ワークショップ トーマスのペーパークラフトを作ろう



県立図書館での関連展示

関連事業

体験イベント 「ミニSLに乗ろう」

会期前には展覧会告知イベントとして、会期中には関連イベントとしてミニSLの乗車会を実施した。会期前の乗車券を展覧会会期中に持参すると特別プレゼント(えんぴつ)がもらえる関連企画も実施した。

日時：5月4日(日)、6月8日(日) 各日11:00～12:30、13:30～15:00

会場：グラントワ中庭広場

参加者計：約900名

グラントワシアター

「劇場版 トーマスをすくえ!! ミステリーマウンテン」

展覧会で展示中の車輛モデルが使用された映画を上映した。

日時：6月14日(土)10:30～、13:00～、15:00～

会場：小ホール

鑑賞者計：185名

ワークショップ 「トーマスのペーパークラフトを作ろう」

切って貼ると車輪が動くトーマスが出来るペーパークラフト作りを行った。

日時：5月31日(土)、6月21日(土)、7月19日(土) 各日10:00～17:00

会場：講義室

参加者計：261名

ワークショップ 「よしととひうたと一緒に機関車紙芝居をつくろう!」

紙芝居ライブで知られる県内在住のミュージシャン、「よしととひうた」を講師に招き、参加者が描いた夢の場所を走る機関車の絵を元にオリジナルの歌と紙芝居を作るワークショップ。出来上がった歌と紙芝居は、よしととひうたによるコンサートの中で発表され、参加者もステージに出て歌った。

日時：7月12日(土)12:30～15:30

会場：講義室

参加親子：14組

*よしととひうたのコンサート

同日14:30～ 会場：美術館ロビー

グラントワ tea ガーデン「蒸気茶」

展覧会ごとにその展示のテーマに即した飲み物を来館者に提供するイベント。今回は炭酸の泡を機関車から吹き出る上記に見立て、ソーダを提供した。

日時：7月5日(土)11:00～

会場：美術館ロビー

参加者：124名

先着プレゼント

会期中毎日先着30名に、「きかんしゃトーマスとなかまたち」の「タオルハンカチ」(全12種)をプレゼントした。

関連展示

展覧会に関連して「きかんしゃトーマスとなかまたち」の原作絵本『汽車の絵本』シリーズの展示とその他機関車に関する書籍などを集めた特設コーナーを設置した。会場は展覧会のポスターや青、赤、緑と3色展開したチラシで飾られ賑やかな雰囲気であった。

会期：5月2日(金)～6月4日(水)

場所：島根県立図書館1階ホール

企画展 美しい日本のデザイン Made in Japan 50's - 60's



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 美しい日本のデザイン Made in Japan 50's-60's

会 期：平成26年8月2日(土)～9月23日(火・祝)

休 館 日：毎週火曜日(ただし8月12日、9月23日は開館)

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
 大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
 小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円

* ()内は20名以上の団体料金

*小中高生の学校利用は入場無料

*障害者手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、BSS山陰放送

協 賛：ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン・日本興亜損保

協 力：べんてる

内 容

大量生産が本格化した1950-60年代につくられた実用的な製品のデザインに焦点を当て、インダストリアル、インテリア、クラフト、グラフィック、ファッション等の分野の当時のデザインを代表する製品を紹介した。自動車2台、バイク2台を含む幅広い製品のデザイン173点を展観した。開催・開通から50年目にあたる東京オリンピックと新幹線のデザインを紹介するコーナーと、森英恵のデザインしたドレスや制服をはじめとする当時のファッションを見ることができるコーナーを設け、特色ある展示となった。また松江市の三菱農機の製品、益田と津和野で教鞭をとった切手デザイナー大塚均の切手原画、出雲市の出西窯の柳宗理デザインの食器、浜田市と大田市出身の東京オリンピックのメダリストのユニフォームなど島根県ゆかりのデザインも顕彰した。

新聞、雑誌掲載

『美術の窓』2月号2月20日 河野 克彦 展覧会紹介

『さんいんキラリ』No.30 4月8日 展覧会紹介記事

『美連協ニュース』No.122 5月 河野 克彦 展覧会紹介

『さんいんキラリ』No.31 7月30日 展覧会紹介記事

ジャパントイムズ8月1日 展覧会紹介記事

読売新聞8月2日 内覧会取材記事

山陰中央新報8月2日 内覧会取材記事

読売新聞8月3日 取材記事 「ニコンF」

読売新聞8月4日 取材記事 「キャセロール、皿」

読売新聞8月5日 取材記事 「スバル360」

読売新聞8月6日 取材記事 「デレゲーション(代表団)ユニホーム 男子用」

読売新聞8月7日 取材記事 「客室乗務員制服(5代目)」

朝日新聞8月7日 展覧会紹介記事

毎日新聞8月8日 展覧会記事

読売新聞8月9日 展覧会紹介記事

中国新聞8月29日 ワークショップ取材記事

読売新聞8月29日 ワークショップ取材記事

読売新聞9月11日 先着プレゼント紹介記事

『MdN』10月号9月5日 展覧会記事

『美術の窓』9月号9月20日 廣田 理紗 展覧会紹介

印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4部分折り変形

子供のための鑑賞ガイド

先着プレゼント(べんてるサインペン)パッケージ

先行告知ツール

展覧会図録

(デザイン：すべて野村デザイン制作室)



記念講演会



スペシャルトーク



ワークショップ 制作



ワークショップ ファッションショー(準備)



ワークショップ ファッションショー(本番)

関連事業

記念講演会「日本のデザイナー結節としての1950年代」

講師：森 仁史(金沢美術工芸大学柳宗理記念デザイン研究所 所長)
 日時：8月2日(土) 14:00～15:30
 会場：講義室
 参加者：26名

スペシャルトーク「デザインと歩んだ半世紀」

ゲスト：木村 一男(名古屋学芸大学メディア造形学部 学部長)
 聞き手：河野 克彦(当館専門学芸員)
 日時：9月14日(日) 14:00～15:30
 会場：講義室
 参加者：24名

ワークショップ

子ども服飾デザイン研究室 Vol.1「石見美術館の制服をデザインしよう」

当館職員の制服をデザイン・制作・発表(ファッションショー)する活動を通じ、ものづくりの楽しさを体験した。

レクチャー

日時：8月10日(日) 13:00～15:00

会場：講義室

制作

日時：8月22日(金)、23日(土)いずれも10:00～16:00

会場：講義室

ファッションショー

日時：(準備)8月28日(木) 10:00～16:00

(リハーサル)8月29日(金) 13:00～17:00

(本番)8月30日(土) 14:00～

会場：小ホール(28日はスタジオ)

舞台演出：大塚 恵美子(演出家)

音楽：山根 浩志(ピアニスト)

参加者：6名

グラントワ tea ガーデン「昭和レトロ茶」

日時：9月7日(日) 11:00～

会場：美術館ロビー

参加者：100人

ギャラリートーク

講師：当館学芸員

日時：8月9日(土)、31日(日)、9月6日(土)、9月21日(日) いずれも14:00～

会場：展示室D

先着プレゼント

会期中、毎日先着20名様に、1963年に発売された「ぺんてるサインペン」を本展オリジナルのパッケージに入れてプレゼントした。

企画展 籾内佐斗司彫刻展 いのちをむすぶ童子たち



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 籾内佐斗司彫刻展 いのちをむすぶ童子たち

会 期：平成26年10月4日(土)～11月17日(月)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円

* ()内は20名以上の団体料金。

*障害者手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、山陰中央テレビ

協 賛：ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン・日本興亜損保

協 力：籾内佐斗司工房、青山美術株式会社

内 容

「せんとかん」の生みの親として知られる彫刻家・籾内佐斗司の展覧会。時間の経過を生き物の一連の動作で表した作品や、自然のエネルギーを「童子」という神性を帯びた存在でユーモラスに表現するなど、初期から近作まで、魅力あふれる作品群を約80点紹介した。県内問わず幅広い世代に人気が高い作風を通じて、現代彫刻への興味と親しみを持ってもらうこと、さらに文化財保存に携わる活動の紹介を通じて、伝統の大切さと、作家が基盤とする素材や技法の活かし方に注目してもらえるよう構成した。そして会期中、籾内氏がプロデュースする仮面舞踏集団「平成伎楽団」の公演も行った。この公演では、地元の神楽社中の協力を得て、従来例のないコラボレーション企画が実現し、大変な好評を得た。

新聞、雑誌掲載

しまね旅の縁5月 展覧会紹介記事

毎日新聞10月3日 展覧会紹介記事

朝日新聞10月4日 展覧会開幕記事 「せんとかん」生みの親 籾内佐斗司さんが彫刻展

山陰中央新報10月4日 展覧会開幕記事 心和む「せんとかん」制作者の籾内氏益田で

彫刻作品展

読売新聞10月4日 展覧会開幕記事 元気と不思議 童子彫刻 益田 籾内佐斗司展

きょう開幕

読売新聞10月11日 籾内さん企画 伎楽団が公演 益田できょう

中国新聞10月12日 籾内さん彫刻 軌跡たどる

広報ますだ11月1日 展覧会紹介記事

サンデー周南11月1日 展覧会紹介記事

『アートコレクターズ』No.68 11月25日 展覧会紹介記事

*会期中、読売新聞において連載記事(執筆者：左近充 直美)を3回掲載

印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A3二つ折り変形

子供のための鑑賞ガイド

4種類の先行告知ハガキ

(デザイン：すべて渡部印刷株式会社)



会場



会場



平成伎楽団公演



平成伎楽団公演



藪内氏による作品解説

関連事業

仮面舞踏集団「平成伎楽団」特別公演

グラントワ開館9周年記念感謝祭「きんさいデー」(入場無料)のメインイベントとして開催。藪内氏制作の仮面と衣裳をつけた演者達と、石見神楽(種神楽保存会)がコラボし、「恵比須」「大蛇」をベースにアレンジしたパフォーマンス劇を披露した。

日時:10月12日(日)11:00～/14:00～ 2回公演(各回1時間程度)

藪内氏による作品解説(13:00～(30分程度)/展示室D、C)も実施

会場:大ホール

参加者:1180名

ギャラリートーク

担当学芸員による作品解説

日時:10月5日(日)、26日(日)、11月3日(祝・日)、16日(日) いずれも14:00～

会場:展示室D・C

参加者:62名

グラントワteaガーデン「ご縁茶」

藪内氏が作品のコンセプトとして大切にしている縁起かつぎにちなみ、「ご縁茶」と名付けたお茶をアテンダントらが提案・準備し、来館者にふるまった。

日時:11月8日(土)11:00～

会場:美術館ロビー

参加者:100名

企画展 美少女の美術史



ポスター



開会式テープカット



会場



会場

展覧会名：企画展 美少女の美術史

会 期：平成26年12月13日(土)～平成27年2月16日(月)

休 館 日：毎週火曜日(ただし12月23日は開館)、12月28日～1月1日

観 覧 料：当日券 一般/1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大学生/600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般/900円、大学生/500円

* ()内は20名以上の団体料金。

*障害者手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、中国新聞社、日本海テレビ

企 画：トリメガ研究所

助 成：一般財団法人 地域創造

協 賛：ヤマトロジスティクス株式会社

協 力：株式会社アートボックス

内 容

アニメやマンガなどの現代日本のポップカルチャーを象徴するモチーフである「美少女」のイメージの変遷や、社会における意味を探った展覧会。浮世絵から近代美術、少女雑誌、現代美術、フィギュアなど様々な領域における「少女」の表現を紹介した。

青森・静岡・島根3館の学芸員によるキュレーションチーム「トリメガ研究所」の企画第2弾として開催(第1弾は平成22年度「ロボットと美術」)。準備段階から「トリメガ研究所」のFacebook、twitterで情報発信したこと、オリジナルアニメーションやフィギュアを制作したことなどで注目を集め、東京でのトークイベントに2度招かれるなど従来にない展開があった。会期終了後もネット配信番組「CURATORS TV」出演、書籍『キュレーションの現在』(フィルムアート社)への執筆など、継続して話題となった。当館の広報としてはホログラムを貼ったビビッドなチラシや、内覧会で「ピンクのものを身につけてくる」ドレスコードを設定するなど、本展ならではの遊び心を発揮した。若年層や県外客など、普段と違った来場者が目立った。なお、本展は平成26年度・美連協大賞奨励賞を受賞した。

また、本展のために制作し会場で上映したアニメ《女生徒》(太宰治原作、塚原重義監督)は、SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2015アニメーションコンペティション部門・奨励賞、札幌国際短編映画祭2015・大林宣彦審査員賞を受賞するなど、高い評価を受けている。

新聞、雑誌掲載

『月刊モデルグラフィックス』 4月号 オリジナルグッズ(“昭和初期の女学生”フィギュア)紹介
『ミュージアムカフェ マガジン』vol.10 feature美少女の美術史

中国新聞 12月13日 展覧会開幕記事

読売新聞 12月13日 展覧会開幕記事

山陰中央新報 12月13日 展覧会開幕記事

中国新聞 12月14日 トークショー取材記事

読売新聞 12月14日 西井 淳「美術館・博物館でサブカル展覧会」

『美術の窓』12月号 川西由里「美少女の美術史展」

『いけ花龍生』1月号 西澤美子「美少女に何を求めてきたのか」

『YUCARI』vol.17 (1月1日発行) 村田 真「古今東西アートの見方 COOL! J-ART 第1回 日本の美術における『少女』。」

中国新聞 1月7日～11日 川西由里 作品紹介

中国新聞 1月12日 「女生徒」特別鑑賞会取材記事

毎日新聞 1月14日 展覧会紹介記事

『月刊書道情報誌 書道界』(1月15日発行) 展覧会紹介記事

朝日新聞 1月17日 展覧会紹介記事

中国新聞 1月18日 ワークショップ取材記事

『月刊アーマーモデリング』2月号 「“美少女の美術史”島根で開催中!

朝日新聞 2月11日 山崎 聡「サブカル展 地方で光る」

読売新聞 3月28日 「『美少女の美術史』美連協奨励賞に」

印刷物

展覧会ポスター：B2



会場

展覧会チラシ：A 4(表面ホログラム貼り)
 子供のための鑑賞ガイド
 展覧会図録
 (デザイン：すべてトリムデザイン)

関連事業

トリメガ研究所座談会「美少女の美術史、ここだけの話。」

講師：工藤 健志(青森県立美術館)、村上 敬(静岡県立美術館)、川西 由里(島根県立石見美術館)
 日時：12月13日(土)14:00～15:30
 会場：講義室
 参加者：30名



アーティストトークと制作実演

アーティストトークと制作実演

島根県出身の本展出品作家による、自作についてのレクチャーと作品(根付)の制作実演
 講師：永島 信也(アーティスト)
 日時：1月4日(日)14:00～15:00
 会場：講義室
 参加者：37名

アニメ《女生徒》新春特別鑑賞会

第1部ではアニメのスタッフ、キャストが制作の裏側などを語った。第2部はアニメで朗読を担当した遊佐未森と、音楽を制作した大口俊輔による、作品にちなんだ曲のコンサートとなった。
 第1部＝塚原 重義監督作品上映＋トーク
 出演：塚原 重義、遊佐未森(シンガーソングライター)、大口俊輔(作曲家、ピアニスト)
 司会進行：川西 由里
 上映作品：「端ノ向フ」(2010年)、「女生徒」(2014年)
 第2部＝《女生徒》によせる音楽会
 出演：遊佐 未森、大口 俊輔
 日時：1月11日(日)14:00～16:00
 会場：小ホール
 参加者：170名



アニメ《女生徒》新春特別鑑賞会

ワークショップ「自分だけの美少女をつくろう」

本展出品作家の指導により、出雲神話に登場する女神、キサガイヒメとウムギヒメをモチーフとして、益田特産のハマグリに参加者が独自に考えた美少女キャラクターの絵を描いた。
 講師：ob(本展出品作家)
 日時：1月17日(土)、18日(日)10:00～16:00
 会場：多目的ギャラリー
 参加者：合計15名



ワークショップ

グラントワ tea ガーデン「乙女茶」

日時：2月8日(日)11:00～
 会場：美術館ロビー
 参加者：100人

ギャラリートーク

講師：当館学芸員
 日時：12月21日(日)、1月2日(金)、2月1日(日)、2月11日(水・祝)、いずれも14:00～
 会場：展示室C・D

先着プレゼント

会期中の土日祝日、先着20名に、展覧会ロゴステッカー(前期)、《女生徒》オリジナルクリアファイル(後期)をプレゼントした。

会員限定バレンタイン企画

2月1日～16日、ミュージアムパスポート会員を対象とした抽選の当選者に、展覧会にちなんだグッズをプレゼントした。

特別展

展示室A 益田家文書に見る中世益田の館・城・湊

会 期：平成26年10月15日(水)～11月24日(月)

内 容：益田市合併10周年を記念した「益田家文書」の里帰り展。益田市・益田市教育委員会との共催。

展示室B 出雲焼の輸出陶器

会 期：平成27年1月28日(水)～3月23日(月)

内 容：明治時代に松江市で生産され欧米に輸出された出雲焼を展示。これまで紹介される機会の少なかった出雲焼と影響関係のあったアメリカの陶器もあわせて紹介した。

出品リスト

No.	作品名	銘	製造者	所蔵
1	布志名焼 黄釉花鳥絵錦手花瓶	「出雲若山」「大」印、大日本京都西田造	船木浅太郎(灘船木)	個人蔵
2	布志名焼 黄釉唐子絵錦手花瓶	「出雲若山」印、大日本京都西田造		個人蔵
3	布志名焼 黄釉花鳥絵錦手花瓶	「出雲若山」印		個人蔵
4	布志名焼 黄釉唐子絵錦手花瓶	「出雲若山」印		個人蔵
5	布志名焼 黄釉唐子絵錦手花瓶	「出雲若山」「大」印	船木浅太郎(灘船木)	個人蔵
6	楽山焼 黄釉花鳥絵錦手花瓶	「楽山」印、大日本京都宮部製	長岡住右衛門	個人蔵
7	布志名焼 黄釉草花絵錦手花瓶	「出雲若山」印、大日本西田造		個人蔵
8	布志名焼 黄釉花鳥絵錦手花瓶	「出雲若山」「大」印	船木浅太郎(灘船木)	個人蔵
9	布志名焼 黄釉人物絵錦手瓢花瓶	「若山」印		個人蔵
10	布志名焼 緑釉流し蟹絵鶴首花瓶	「若山」印		個人蔵
11	布志名焼 黄釉菊絵花瓶	「大日本」「若山製陶舎」印	製陶舎[船木健右衛門(本船木)、澤喜三郎(前澤)]	個人蔵
12	布志名焼 黄釉花鳥絵花瓶	「若山製陶舎」印	製陶舎[船木健右衛門(本船木)、澤喜三郎(前澤)]	個人蔵
13	楽山焼 黄釉鶴絵花瓶	「出雲楽山」印	長岡住右衛門	個人蔵
14	布志名焼 黄釉水辺絵花瓶	「本」印	船木健右衛門(本船木)	個人蔵
15	布志名焼 黄釉椿絵マグカップ	「出雲若山」「大」印	船木浅太郎(灘船木)	個人蔵
16	布志名焼 黄釉花絵花瓶	「大日本」「若山製陶舎」印	製陶舎[船木健右衛門(本船木)、澤喜三郎(前澤)]	個人蔵
17	布志名焼 黄釉菊絵花瓶	「出雲若山」「大」印	船木浅太郎(灘船木)	個人蔵
18	布志名焼 黄釉花鳥絵花瓶			個人蔵
19	布志名焼 深緑釉龍絵銀彩珈琲具	「出雲」「大」印	船木浅太郎(灘船木)	個人蔵
20	布志名焼 深緑釉龍絵銀彩花瓶	「出雲」「大」印	船木浅太郎(灘船木)	個人蔵
21	布志名焼 深緑釉龍絵銀彩花瓶	「出雲」「大」印	船木浅太郎(灘船木)	個人蔵
22	布志名焼 深緑釉龍絵銀彩花瓶	「出雲」「大」印	船木浅太郎(灘船木)	個人蔵
23	布志名焼 深緑釉龍絵銀彩花瓶	「出雲」「大」印	船木浅太郎(灘船木)	個人蔵
24	布志名焼 深緑釉龍絵銀彩花瓶	「出雲」「大」印	船木浅太郎(灘船木)	個人蔵
25	布志名焼 深緑釉龍絵銀彩花瓶	「出雲」「大」印	船木浅太郎(灘船木)	個人蔵
26	布志名焼 深緑釉龍絵銀彩花瓶	「出雲」「大」印	船木浅太郎(灘船木)	個人蔵
27	布志名焼 深緑釉龍絵銀彩花瓶	「出雲」「大」印	船木浅太郎(灘船木)	個人蔵
28	布志名焼 深緑釉龍絵銀彩花瓶			個人蔵
29	布志名焼 紫黒釉龍絵銀彩花瓶	「出雲若山」「大」印	船木浅太郎(灘船木)	個人蔵
30	布志名焼 深緑釉龍絵金彩花瓶	「又」印	福島又兵衛(空福島)	個人蔵
31	布志名焼 黄釉上絵盛り上げ花瓶	「出雲若山」「大」印	船木浅太郎(灘船木)	個人蔵

印刷物

展覧会チラシ：B5(デザイン：Aida Yoshiyuki Design)

関連事業

講演会「近代出雲焼と日本陶磁器の流れ」

講 師：高木 典利(美濃焼 平正窯、近代国際陶磁研究会 顧問)

日 時：2月14日(土)14:00～15:00

会 場：講義室

参 加 者：20名

新聞、雑誌掲載

山陰中央新報1月28日 展覧会情報

毎日新聞1月30日 展覧会紹介記事

『美術の窓』3月号 3月20日 展覧会情報



チラシ

展示室A 森村 泰昌

会 期：平成26年3月26日(水)～5月19日(月)

内 容：森村泰昌が映画女優たちに分したシリーズから、12人の女優を取り上げ特集展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	森村 泰昌	光るセルフポートレート／赤いマリリン	1996年	エクタカラー・ウルトラ2、アクリル	個人蔵
2	森村 泰昌	光るセルフポートレート／白いマリリン	1996年	エクタカラー・ウルトラ2、アクリル	個人蔵
3	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／ブリジット・バルドーとしての私・1	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
4	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／ブリジット・バルドーとしての私・2	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
5	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／ブリジット・バルドーとしての私・3	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
6	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／ヘップバーンとしての私・1	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
7	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／ヘップバーンとしての私・2	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
8	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／ヘップバーンとしての私・3	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
9	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／ライザ・ミネリとしての私	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
10	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／イングリッド・バーグマンとしての私・1	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
11	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／イングリッド・バーグマンとしての私・2	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
12	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／イングリッド・バーグマンとしての私・3	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
13	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／マレーネ・ディートリッヒとしての私・1	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
14	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／マレーネ・ディートリッヒとしての私・2	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
15	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／マレーネ・ディートリッヒとしての私・3	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
16	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／マレーネ・ディートリッヒとしての私・4	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
17	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／イワシタ・シマとしての私	1996年	エクタカラー・ウルトラ2、アクリル	個人蔵
18	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／ヤマグチ・モモエとしての私	1996年	エクタカラー・ウルトラ2、アクリル	個人蔵
19	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／ジョディー・フォスターとしての私・1	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
20	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／ジョディー・フォスターとしての私・2	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
21	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／ビビアン・リーとしての私・1	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
22	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／ビビアン・リーとしての私・2	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
23	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／ビビアン・リーとしての私・3	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
24	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／エリザベス・テイラーとしての私・1	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
25	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／エリザベス・テイラーとしての私・2	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
26	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／エリザベス・テイラーとしての私・3	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
27	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／エリザベス・テイラーとしての私・4	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
28	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／グレダ・ガルボとしての私・1	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館
29	森村 泰昌	セルフ・ポートレート(女優)／グレダ・ガルボとしての私・2	1996年	イルフォ・クローム、アクリル	島根県立石見美術館

展示室A 花開くモダン アール・デコの諸相

会 期：平成26年5月21日(水)～7月13日(日)

内 容：1920～30年代西欧中心に流行した装飾芸術様式、アール・デコ。モダンアートや東洋からの影響を受けた幾何学的形態を特徴とするそのスタイルを、絵画や服飾により紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1		『アール・グー・ポージェ』	1920～33年	冊子	島根県立石見美術館
2		『20世紀現代産業装飾芸術百科事典』	1925年		島根県立石見美術館
3	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「アポロンの馬」		紙にグアッシュでテキスタイルと同デザイン	島根県立石見美術館
4	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「墓の花」		紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
5	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「蝶々と花」		紙にグアッシュ	島根県立石見美術館
6	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「鳥、異国の果物と花」	1912～28年	紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
7	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「幾何学的な花」		紙にグアッシュ	島根県立石見美術館
8	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「花の種蒔き」		紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
9	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「花とアラベスク模様」		紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
10	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「さんれんか」		紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
11	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「四角の中のとうもろこし、マーガレット、ケシの花」		墨一色で紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
12	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「パステル色の花」		黒地・紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
13	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「パステル色の花」		白地・紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
14	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「花・水浴の女・船・貝殻」	1924年代	正四角形のモスリン	島根県立石見美術館
15	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 表紙	1925年		島根県立石見美術館
16	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 1. 1923年「室内」(仮題)	1925年	ポショワール、紙、20枚組	島根県立石見美術館
17	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 2. コスチューム・デザイン	1925年	ポショワール、紙、20枚組	島根県立石見美術館
18	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 8. 1923年 婦人服のためのデザイン	1925年	ポショワール、紙、20枚組	島根県立石見美術館
19	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 12. ジレのためのデザイン	1923年	ポショワール、紙、20枚組	島根県立石見美術館
20	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 13. 衣装のモデル	1924～25年	ポショワール、紙、20枚組	島根県立石見美術館
21	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 14. 1922-1923年 衣装のモデル	1925年	ポショワール、紙、20枚組	島根県立石見美術館
22	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 16.	1923年	ポショワール、紙、20枚組	島根県立石見美術館
23	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 17. 1912-1913年 小箱のデザイン サンドラルール「ニューヨークの復活祭」のための装丁デザイン	1925年	ポショワール、紙、20枚組	島根県立石見美術館
24	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 20. 5人の女性	1924年	ポショワール、紙、20枚組	島根県立石見美術館
25	マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1920年代	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。ボートネック、ラグランスリーブ、プリーツスカート。	島根県立石見美術館
26	スザンヌ・タルボット	イブニングコート	1925年頃	黒い絹の繭型コート。椰子の葉と花々を刺繍したテキスタイル。黒の毛皮のトリミング。裏地は黒のベルベット。	島根県立石見美術館
27	ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1920年代後半	黒い絹クレープ・デ・シンにシャンティイレース地を重ねたワンピース・ドレス。サテン地のリボン。	島根県立石見美術館
28	作者不詳	ビーチ・アンサンブル	1910-20年代	白色のシルクボンジー。袖無しのボディス、パンツ。	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
29		プレイスーツ	1920年代 初頭	綿にプリント。ジャケット、パンツ。	島根県立石見美術館
30		ネックレス	1920年頃	ピンク、緑、銀色のストライプと 小花模様のビーズ・ワーク。両 端にタッセルの飾り。	島根県立石見美術館
31		イブニング用シューズ	1920年頃	花のモチーフを銀糸をつかいブ ロケード織り。	島根県立石見美術館

新聞、雑誌掲載

朝日新聞5月23日 展覧会情報

読売新聞6月13日 展覧会情報

山陰中央新報6月13日 展覧会紹介記事

展示室A 涼をもとめて

会 期：平成26年7月17日(土)～8月25日(月)

内 容：目にも涼しい美術作品を当館コレクションから厳選して公開。清涼感あふれる美の名品とともに身も心もリフレッシュできる納涼企画。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	谷 文晁	滝図	1827年	絹本着色	島根県立石見美術館
2	橋本 明治	蓮を聴く	1936年	絹本着色	島根県立石見美術館
3	伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和前期	絹本着色	島根県立石見美術館
4	小早川 清	旗亭涼宵	1933年	絹本着色	島根県立石見美術館
5	山田 喜作	湘南初夏	1931年	絹本着色	島根県立石見美術館
6	エルメス	水着	1940～50年代	幾何学的な魚の模様のスパンデックス ボン入り	島根県立石見美術館
7		水着	1920年頃	青色と赤色のストライプのウールニット 右肩に釦ファスナー	島根県立石見美術館
8		水着	1920年代	青、黒、白のストライプのウールニット ベルトのトロンブルイユ柄	島根県立石見美術館
9	エルザ・スキャ パレリ	水着	1930年代後半	綿とレーヨンの混紡 幾何学模様ホル ターネックブラ	島根県立石見美術館
10	クレア・マッ カードイル	水着	1945年頃	黒色と白色のストライプのジャージー	島根県立石見美術館
11	G・ベクード	ファッションプレート「玉虫色 のタフタでできた海水浴着」 (['ジュルナル・デ・ダム・エ・ デ・モード』より)	1912年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
12	ジョルジュ・バ ルビエ	ファッションプレート「水着」 (['ジュルナル・デ・ダム・エ・ デ・モード』より)	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
13	ピエール・プリ ソー	ファッションプレート「さあ!勇気 を出して 水浴のための衣服」 (['ガゼット・デュ・ボン・トン』 より)	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
14	エルネスト・タ ヤート	ファッションプレート「波 マドレー ヌ・ヴィオネの水着」(['ガゼット・ デュ・ボン・トン』より)	1923年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館

展示室A 森を歩こう

会 期：平成26年8月27日(水)～10月12日(日)

内 容：森林浴を美術館で。石見美術館所蔵品の中から、森や湖水など自然の風景を描いたものを紹介。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	黒田 清輝	ポプラの黄葉	1891年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	田中 頼璋	白雲紅樹	1934年	絹本着色 額装	島根県立石見美術館
3	大下 藤次郎	野の道	1894～97年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	宮 芳平	風景	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	鹿子木 孟郎	加茂ノ森	1923年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	中川 八郎	初秋の夕	1919年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
7	満谷 国四郎	雑木林	1922年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正時代～ 昭和時代初期	油彩、絹本	島根県立石見美術館
9	石井 柏亭	芙蓉湖	1950年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
10	長谷川派	武蔵野図	桃山時代～ 江戸時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	島根県立石見美術館
11	岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図	1848年	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	島根県立石見美術館
12	山本 梅逸	山水図	1833年	紙本墨画 掛幅装	島根県立石見美術館
13	中林 竹洞	湖山清遠図	1834～1837年	絹本墨画 掛幅装	島根県立石見美術館
14	富岡 鉄斎	江山招隠図	1907年	絹本着色 掛幅装	島根県立石見美術館

展示室A 写実表現の系譜

会 期：平成26年11月27日(木)～平成27年1月19日(月)

内 容：明治から昭和初期の洋画、日本画13点をたどり、実際の景色を「写す」ということに画家がどのように関心を注ぎ、独自の表現を追求してきたのかを追った。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治前期	絹本着色	島根県立石見美術館
2	五百城 文哉	富士図	明治26～39年(1893～1906)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
3	今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	明治33年(1900)	絹本着色	島根県立石見美術館
4	竹内 栖鳳	藤花薺花群犬図	明治31年(1898)	紙本着色	島根県立石見美術館
5	川村 曼舟	牧牛図屏風	大正時代	絹本着色	島根県立石見美術館
6	吉田 博	風景	明治44～大正9年(1911～20)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
7	鹿子木 孟郎	舞子の浜	大正3年(1914)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	和田 英作	風景	大正3年(1914)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
9	中川 八郎	初秋の夕	大正8年(1919)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
10	川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正～昭和初期	油彩、絹本	島根県立石見美術館
11	石井 柏亭	芙蓉湖	昭和25年(1950)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
12	岸田 劉生	静物	大正9年(1920)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
13	椿 貞雄	冬瓜南瓜図	昭和22年(1947)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館

展示室A あなたはどう見る? —よく見て話そう美術について

会 期：平成27年1月21日(水)～3月16日(月)

内 容：鑑賞者が作品について自由に想像したり、作品そのものと深く向き合うことを期待し、キャプションや解説を付けずに展示する企画。毎年この時期に開催し、平成26年度で3回目。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	黒田 清輝	裸体	1889年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	中村 不折	裸婦	1900～1920年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	島根県立石見美術館
5	大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	島根県立石見美術館
6	岡田 三郎助	黒き帯	1915年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
7	藤島 武二	西洋婦人像	1908～1909年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	藤田 嗣治	青いドレスの女	1939年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
9	アンドレ・クレージュ	イブニング・ドレス	1970年頃	白いウール地のワンピース・ドレス。裏地は白い絹。	島根県立石見美術館
10	リパティ商会	コート	不詳	青色の絹ベルベット。フロントにくるみボタン、襟に絹製の紐、裾に長いタッスル飾り。	島根県立石見美術館
11	マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	赤の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。	島根県立石見美術館
12	アリックス・グレ	イブニング・ドレス	1958年	黒い絹ジャージーのワンピース・ドレス。細かくたたまれたプリーツ。	島根県立石見美術館
13	ヴィヴィアン・ウエストウッド	「18世紀スタイル」イブニングドレス	1992年	金色の革。ボーンの入ったボティス。皮のスカート。白の絹ゴーズのスカーフ。	島根県立石見美術館
14	ジョージ・ホイニンゲン＝ヒューネ	ドラマティック・イブニング・ケープ	1938年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
15	ホルスト P. ホルスト	白い袖、パリ	1936年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
16	マーティン・ムンカッチ	ルシール・ブロコウ 『ハーパース・バザー』1933年12月号	1933年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
17	ジョージ・ホイニンゲン＝ヒューネ	ヴィオネ	1939年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
18	ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
19	ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
20	ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
21	森村 泰昌	セルフポートレート (モノクロ) /ライザ・ミネリとしての私	1996年	ゼラチン・シルバー・プリント	個人蔵
22	森村 泰昌	セルフポートレート (モノクロ) /ヘップバーンとしての私	1996年	ゼラチン・シルバー・プリント	個人蔵
23	森村 泰昌	セルフポートレート (モノクロ) /ガルボとしての私・2	1996年	ゼラチン・シルバー・プリント	個人蔵
24	森村 泰昌	セルフポートレート (モノクロ) /ガルボとしての私・1	1996年	ゼラチン・シルバー・プリント	個人蔵
25	森村 泰昌	セルフポートレート (モノクロ) /シルビア・クリステルとしての私	1996年	ゼラチン・シルバー・プリント	個人蔵
26	森村 泰昌	セルフポートレート (モノクロ) /バーグマンとしての私	1996年	ゼラチン・シルバー・プリント	個人蔵
27	森村 泰昌	セルフポートレート (モノクロ) /マリリン・モンローとしての私	1996年	ゼラチン・シルバー・プリント	個人蔵
28	森村 泰昌	セルフポートレート (モノクロ) /バルドーとしての私	1996年	ゼラチン・シルバー・プリント	個人蔵

関連イベント

みるみると見てみる?

対話型鑑賞を研究・普及することを目的に、島根県内美術科教員を中心に組織されているグループ「みるみるの会」のナビゲーションで会話しながら作品鑑賞をする会を開催した。この年で4年目となる活動。

日 時：平成27年1月25日(日)、2月1日(日)、15日(日)、3月1日(日)、8日(日) 各日13:30～

会 場：展示室A

新聞掲載

中国新聞2月2日 対話型鑑賞開催記事

山陰中央新報2月20日 対話型鑑賞開催記事

展示室B 宮芳平の銅版画

会 期：平成26年4月2日(水)～5月26日(月)

内 容：宮芳平の作風を示す一側面として重要な、銅版画を特集した。1934(昭和9)年、芳平は、エッチングのプレス機を購入。翌年2月頃まで、自らの詩や随想を綴った個人通信誌『AYUMI』の版画編を刊行し、知人や教え子に頒布する。芳平の版画はいずれも掌におさまるほど小さなサイズで、銅版画ならではの味のある繊細な線描が特徴。哀愁を背負いつつも、閑かで温かみがある芳平独自の詩的感性を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	宮 芳平	湖と乙女	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
2	宮 芳平	湖と乙女(月)	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
3	宮 芳平	山と月	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
4	宮 芳平	月(望月)	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
5	宮 芳平	田舎(三日月)	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
6	宮 芳平	おぼろの太陽	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
7	宮 芳平	黒百合	昭和9年(1934)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
8	宮 芳平	茄子の木	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
9	宮 芳平	庭の花(くりん草)	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
10	宮 芳平	庭の花(すみれ)	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
11	宮 芳平	庭の花(桜草)	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
12	宮 芳平	雨 その1	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
13	宮 芳平	雨 その2	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
14	宮 芳平	コスモス	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
15	宮 芳平	旧校舎(雪)	昭和10年(1935)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
16	宮 芳平	室内	昭和10年(1935)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
17	宮 芳平	コーヒーわかし	昭和10年(1935)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
18	宮 芳平	もろこしとトマト	昭和10年(1935)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
19	宮 芳平	茄子	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
20	宮 芳平	山(年賀状)	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
21	宮 芳平	水	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
22	宮 芳平	水辺	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
23	宮 芳平	叢	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
24	宮 芳平	御神木	昭和9年(1934)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
25	宮 芳平	松	昭和10年(1935)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
26	宮 芳平	山湖	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
27	宮 芳平	八ヶ嶽	昭和9年(1934)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
28	宮 芳平	裏山	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
29	宮 芳平	山(冬の裏山)	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
30	宮 芳平	雲	昭和8年(1933)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
31	宮 芳平	実のなる木	昭和10年(1935)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
32	宮 芳平	門	昭和9年(1934)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
33	宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
34	宮 芳平	昭子像	昭和10年(1935)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
35	宮 芳平	自画像	昭和9年(1934)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
36	宮 芳平	自画像(眼を病める)	昭和10年(1935)	エッチング・紙	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報4月22日 展覧会紹介記事

展示室B 石見根付

会 期：平成26年5月30日(金)～8月25日(月)

内 容：江津市に寄贈された七田眞氏の根付コレクションを中心に石見根付を紹介。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	富春	亀	18世紀	水牛の角	江津市(七田眞コレクション)
2	伝富春	猪牙に蜘蛛	19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
3	伝富春	葡萄に栗鼠	18～19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
4		猪牙に山水図	19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
5	文章	猪牙に忍草と蜘蛛	文政12年(1829)	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
6	文章	猪牙に百足	18～19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
7	文章	鮑に蟹	18～19世紀	黒檀	江津市(七田眞コレクション)
8	文章	流木に蜘蛛	18～19世紀	黒柿	江津市(七田眞コレクション)
9	伝文章	猪牙に鼠	18～19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
10	伝文章	唐辛子	18世紀	鯨歯	江津市(七田眞コレクション)
11	巖水	忍草に蜘蛛	19世紀	象牙	江津市(七田眞コレクション)
12	伝巖水	雪松に鹿	19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
13	貫満	和歌に蜘蛛	文政4年(1821)	象牙	江津市(七田眞コレクション)
14	貫満	稲穂に鼠	19世紀	海松	江津市(七田眞コレクション)
15	貫満	筍切株茄子鞘豆	19世紀	黒柿	江津市(七田眞コレクション)
16	富永	和歌に南天	19世紀	象牙	江津市(七田眞コレクション)
17	富明	猪牙に蜘蛛	18世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
18	素龍	猪牙に忍草と蜘蛛	19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
19	我補	猪牙に蟹	文化13年(1816)	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
20	廣花堂	猪牙に忍草と蜘蛛	19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
21		猪牙に忍草と蟹	19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
22		堅田落雁	19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
23	直人	蟬	18世紀	水牛の角	江津市(七田眞コレクション)
24		枝に蟬	18～19世紀	黒檀	江津市(七田眞コレクション)
25	可専	亀	18～19世紀	黒檀	江津市(七田眞コレクション)
26	利治	竹に蝸牛	19世紀	黄楊	江津市(七田眞コレクション)
27		流木に蟹	18世紀	黒柿	江津市(七田眞コレクション)
28	白龍	蓮葉に蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田眞コレクション)
29		蓮葉に蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田眞コレクション)
30	葛川	蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田眞コレクション)
31	正吉	八景図	文化5年(1808)	象牙	江津市(七田眞コレクション)
32	巖水	トンコツ(煙草入れ)	19世紀	竹	江津市(七田眞コレクション)
33	臥農	香入提物	18～19世紀	黒檀	江津市(七田眞コレクション)
34	富春	蓮葉に蓑亀	寛政4年(1792)	鯨歯	島根県立石見美術館
35	富春	鮑に蟹	寛政7年(1795)	象牙	島根県立石見美術館
36	富春	亀	18～19世紀	黒檀	島根県立石見美術館
37	巖水	扇面に忍草	19世紀	象牙	島根県立石見美術館
38	富永	猪牙に蜘蛛	19世紀	猪牙	島根県立石見美術館
39	龍水	牛	18～19世紀	黒檀	島根県立石見美術館
40		猪牙に蜘蛛	18～19世紀	猪牙	島根県立石見美術館
41	中村松間斎	猛禽図印籠	19世紀	高蒔絵	島根県立石見美術館

展示室B モノクロ

会 期：平成26年8月27(水)～10月20(月)

内 容：展示室Bの黒を基調とした内装にあわせ、所蔵作品より単色、または白地に黒(あるいは黒地に白)で表現された作品を特集展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	大下 藤次郎	牛込	1890年代	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
2	大下 藤次郎	椿	明治27年(1894)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
3	大下 藤次郎	馬	明治25年(1892)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
4	宮 芳平	はぜのある風景	昭和3年(1928)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
5	宮 芳平	樹木	昭和29年(1954)	コンテ、紙	島根県立石見美術館
6	横山 大観	水温む	昭和29年(1954)	紙本墨画、額	島根県立石見美術館
7	曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代(18世紀)	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
8	海北 友松	達磨、巖頭	江戸時代(17世紀)	紙本墨画、対幅	島根県立石見美術館
9	マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
10	マーティン・ムンカッチ	『ハーバース・バザー』1936年6月号	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
11	ウィリアム・クライン	煙+ペール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
12	ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち	1965年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
13	ジャン=エミール・ラブレール	ビュット・ショーモン公園風景	1921年	エッチング、紙	島根県立石見美術館
14	ジャン=エミール・ラブレール	マリー・ローランサンの肖像	1914年	木版、紙	島根県立石見美術館
15	和田 英作	海神	1918年	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
16	巖水	根付 扇面草図	江戸時代(19世紀)	象牙	島根県立石見美術館
17	富春	根付 蓮葉に菟亀	寛政4年(1792)	鯨の歯	島根県立石見美術館
18	富春	根付 亀	江戸時代(18世紀)	黒檀	島根県立石見美術館
19	龍水	根付 牛	江戸時代	黒檀	島根県立石見美術館
20	ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1912年デザイン	陶器	島根県立石見美術館
21	ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの箱	1920～21年	鍍金・銀	島根県立石見美術館
22	ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙	島根県立石見美術館

展示室B 鷗外博士の美術の箱

会 期：平成26年10月22日(水)～12月1日(月)

内 容：多才な巨人・森鷗外は、時代の流れや人の心を鋭い視点で観察し、そこで起きる変化を厭わず受容する心の寛さと、分野の違いを問わず良いものを見いだし、その才能を引き出す審美眼を持ち合わせていた。これは鷗外自身、人一倍好奇心が強かったこと、そして彼のなかに、様々なものが入り引き出しや箱があったのでは、と例える事ができる。今回は、鷗外がもつ美術の箱をのぞき込むような視点で、当時の美術界で活躍した画家達との交流を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	中村 不折	裸婦	明治年末～大正初期年(1900～20)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	中村 不折	裸体	明治36～38年(1903～05)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	山本 鼎	筍	昭和13年(1938)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	満谷 国四郎	雑木林	大正11年(1922)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	満谷 国四郎	風景	大正時代中期	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	原田 直次郎	男児肖像	明治20年代(1887～98)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
7	大下 藤次郎	野の道	明治25～30年(1894～97)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	黒田 清輝	ポプラの黄葉	明治24年(1891)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
9	黒田 清輝	裸体	明治22年(1889)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
10	宮 芳平	自画像	大正9年(1920)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
11	松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治末期～大正時代	絹本着色	島根県立石見美術館
12	藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	大正12年(1923)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
13	藤田 嗣治	青いドレスの女	昭和14年(1939)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
14	森 鷗外「文づかひ」掲載 表紙・挿絵：原田 直次郎	『新著百種』第12号	明治24年(1891) 1月28日発行	雑誌	島根県立石見美術館
15	装丁：長原 止水(孝太郎)	森 鷗外『玉匣両浦島』	明治35年(1902) 12月29日発行	書籍	島根県立石見美術館
16	装丁：中村 不折	森 鷗外訳『人の一生 飛行機』	明治44年(1911) 1月1日発行	書籍	島根県立石見美術館
17	装丁：藤島 武二	森 鷗外訳 ゲルハルト・ハウプトマン作『寂しき人々』	明治44年(1911) 7月20日発行	書籍	島根県立石見美術館
18	装丁：橋口 五葉	森 鷗外『青年』	大正2年(1913) 2月10日発行	書籍	島根県立石見美術館
19	装丁：長原 止水(孝太郎)	森 鷗外訳 ホフマンスタール作『謎』	大正3年(1914) 5月5日発行	書籍	島根県立石見美術館
20	装丁：橋口 五葉	森 鷗外『塵泥』	大正4年(1915) 12月23日発行	書籍	島根県立石見美術館
21	装丁：木下 奎太郎、扉： 和田 英作	森 鷗外訳 ゲーテ作『ギョッツ』	大正5年(1916) 5月5日発行	書籍	島根県立石見美術館
22	装画：藤島 武二	森 鷗外訳『蛙』	大正8年(1919) 5月13日発行	書籍	島根県立石見美術館

展示室B パリジェヌの一日

会 期：平成26年12月3日(水)～平成27年1月25日(日)

内 容：1912～22年にフランスで刊行されたファッションプレートには当時流行のスタイルに身を包んだ女性たちが描かれている。本展はパリに生きる一人のパリジェヌのとある一日になぞらえ、朝・昼・夜と特集しファッションプレートを展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ジョルジュ・バルビエ	麗しい朝課	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
2	フランシスコ・ジャヴィエール＝ゴゼ	バラの中のバラ レドファンによるガーデン・パーティー用ドレス	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
3	フランシスコ・ジャヴィエール＝ゴゼ	崖の上 レドファンによる夏のドレス	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
4	ジョルジュ・バルビエ	まあ、なんといい天気でしょう! パキャンによるデイ・ドレス	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
5	アンドレ・マルティ	鼻の先が赤くなる、または、いやなことはすぐに直しましょう ウォルトによるドレス	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
6	ルイス・ストリンプル	みぞれ ドゥイエによる午後のドレス	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
7	ジョルジュ・バルビエ	タイミングの悪い天気雨 ウォルトによる保養地のための服	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
8	H.ロベルト・ダミー	素晴らしい花 ドゥーセによる夜のドレス	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
9	シャルル・マルタン	そしてこれが私の心… ロディエによるサマードレス	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
10	不詳	リビエラのための花をのせたドレス	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
11	ジョルジュ・ルパーブ	どっちにしようかな? ポール・ポフレによる夜のドレス	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
12	ロベルト・ボンフィルス	花の中のビューリー 午後の衣服とコート	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
13	ジョルジュ・バルビエ	パニエがついたドレス	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
14	ジョルジュ・バルビエ	水玉模様の海濱着	1912年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
15	不詳	レモン色のピロードでできたコート	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
16	ジョルジュ・バルビエ	夜会用のドレス	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
17	ジョルジュ・ルパー ブ	即興のキャディ ジャンヌ・ランヴァンによるゴルフ・ウェアと少女のための ドレス	1924 ~25年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
18	エルネスト・タヤ ト	ゴルフ・ウェア マドレーヌ・ヴィオネの衣服	1924年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
19	シャルル・マルタン	美しいシャモニー ルロフによるオコジョと白狐のジャケット	1924年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
20	ホセ・ジノビエフ	とっても楽しい時間 ヨット遊びのための服	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
21	モーリス・タコイ	シャモニーにて ウィンター・スポーツのための男女の衣服	1912年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
22	マドレーヌ・ルエ	競技場 マドレーヌ・ヴィオネによるウィンター・スポーツのための 服とコート	1924 ~25年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
23	ジョルジュ・バルビ エ	移り気な鳥	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
24	ゲルダ・ウエグナー	起き抜けに	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
25	ウンベルト・ブルネ レスキ	刺繍入りサテンのコート	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
26	アンドレ・マルティ	飛んで! ドウイエによるダンスのためのドレス	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
27	ルイス・ストリン ブル	壊れた花瓶 部屋着	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
28	モーリス・タコイ	忠誠心へのご褒美 ウォルトによる午後のドレス	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
29	モーリス・タコイ	好みのポニー ウォルトのエlegantなテイラード・スーツ	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
30	H.ロベルト・ダミー	まあなんて美しい鳥でしょう! ドゥーセによる部屋着	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
31	不詳	鳥の死 チェコスロバキアの衣服	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
32	シャルル・マルタン	音楽	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
33	ジョルジュ・バルビ エ	テオルボを奏でる人 バキャンによる夜のためのコート	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
34	ピエール・プリソー	47,あるいは音楽のひとつ シュリュイによる発表会のためのドレス	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
35	ドゥ・シメオン	ピアノと歌	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
36	ジョルジュ・バルビ エ	ボックス席	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
37	アンドレ・マルティ	「ヴェネツィアンガラス」 ポール・ポワレによる舞台衣裳	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
38	シャルル・マルタン	『ヨセフの伝説』第2幕	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
39	モーリス・タコイ	幕間 ウォルトによる夜のドレス	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
40	ピエール・プリソー	少し休憩 ベーアによる夜のドレス	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
41	ジョルジュ・ルパー ブ	少し早かったかしら? ポール・ポワレによる劇場用コート	1912年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
42	ピエール・プリソー	コート・ダ・ジュール	1915年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
43	ルイス・ストリン ブル	新しいスリル レドファンによるタンゴのための衣裳	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
44	ロジェ・シャステル	ナイトクラブ	1924年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
45	アンドレ・マルティ	二人の愚か者 ドウイエによるクリスマス・イヴのためのドレス	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
46	ジョルジュ・ルパー ブ	嫉妬 ポールポワレによる夜のドレス	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
47	エドワード・ガルシ ア・ベニート	なんて哀しいの…、あるいは浮気 ロディエによる午後のドレスとクレエッグによる男性用ジャ ケット、パンツ、ジレ	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
48	ジョルジュ・バルビ エ	さようなら! ウォルトによるイブニング・コート	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
49	シャルル・マルタン	雪	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
50	ピエール・プリソー	黒い人々の帰宅 デュシャルンによる羽のコート	1924年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
51	ベルナルド・ブーテ ド・モンヴェル	見て!…もう帰ってる! 午後のオーバーコート	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
52	シャルル・マルタン	ミュール	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館

新聞、雑誌掲載

山陰中央新報11月30日 展覧会情報

朝日新聞1月9日 展覧会情報

山陰中央新報1月16日 展覧会紹介記事

展示室C 石見の洋画

会 期：平成26年4月23日(水)～6月8日(日)

内 容：島根県西部地域「石見」は、海と山との両方を揃え、土地の豊かさと自然そのもののもつ生粋の美しさに囲まれている。本展では、石見地方の風景を画題にしたものや、石見出身の画家の作品など、一部初公開となる新収蔵作品もまじえて、当地ゆかりの作品を展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	加賀羅 聡	三浦浩「津和野物語」挿絵	昭和61年(1986)	水彩、紙	島根県立石見美術館
2	須田 国太郎	素描「大濱」	昭和25年(1950)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
3	寺戸 恒晴	持石海岸	昭和52年(1977)	油彩、紙	島根県立石見美術館
4	山中 徳次	木部海岸(大谷)	昭和11年(1936)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	山崎 修二	港通りの家	平成10年(1998)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	山崎 修二	夏	昭和11年(1936)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
7	山崎 修二	残雪のある庭	昭和13年(1938)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	山崎 修二	山懐の早春	昭和28年(1953)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
9	山崎 修二	風景	昭和16年(1941)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
10	山崎 修二	髪	昭和14年(1939)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
11	山崎 修二	窓辺の風景	昭和25年(1950)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
12	山崎 修二	初冬	昭和11年(1936)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
13	山崎 修二	緑の静物	昭和30年(1955)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
14	山崎 修二	二人の少女	昭和6年(1931)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
15	山崎 修二	少女像	昭和6年(1931)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館

展示室C 不思議のファッション

会 期：平成26年6月12日(木)～8月4日(月)

内 容：女性のパンツスタイルは今や定着していますが、現れた当初不思議で奇妙な恰好とされました。当時はもちろん、場合によっては今見ても「不思議な」ファッションの作例を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	テオフィル＝アレクサンデル・スタンラン	オートバイ「コミオ」	1899年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
2	不詳	女性用サイクリング・ウェア	1910年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。	島根県立石見美術館
3	マリアノ・フォルチュニ	ドレス「デルフォス」	1910年代	白の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。	島根県立石見美術館
4	マリア・モチナ・ガレンガ	ティーガウン	1910年代	赤茶色の絹ベルベット地、直線断ちのドレス、ロング・スリーブス、肩にヴェネツィアンピース。ドレスに鳥と植物模様、袖に幾何学模様が金でステンシル(型染め)されている。	島根県立石見美術館
5	リバティ	コート	20世紀初頭	青色の絹ベルベット。ライニングは絹のシルバー・ラメ。フロントにくるみボタン、襟に絹製の紐、裾に長いタッセル飾り。	島根県立石見美術館
6	エルザ・スキヤパレリ	イブニング・ドレス	1939年	クリーム色のサテン・シルク。衿はフェイク(衿の形をしたアップリケ刺繍)。肩にプラスチック・ジップ。	島根県立石見美術館
7	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキストスタイル・モード』 3. 1923-1924年 トリスタン・ツァラ「ガスで動く心臓」より	1925年	ポショワール、紙、20枚組	島根県立石見美術館
8	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキストスタイル・モード』 11. 1919-1923年 トリスタン・ツァラ「ガスで動く心臓」より	1925年	ポショワール、紙、20枚組	島根県立石見美術館
9	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキストスタイル・モード』 15.	1924年	ポショワール、紙、20枚組	島根県立石見美術館
10	ルディ・ガーンライヒ	水着「モノキニ」	1964年	ヘリングボーンパターンのウール、綿、ラバーの混紡。	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
11	ルディ・ガンライヒ	パンツ・スーツ	1960年代後半	ライム・グリーンとブルーのジグザグパターンのウール・ニット。ボタン付きベルト。	島根県立石見美術館
12	ベス・レヴィン	サンダル「ネイキッド・シューズ」	1960年代	革製サンダル。プラスチック製のシダのモチーフのデコレーション。	島根県立石見美術館
13	ハーバート・レヴィン	靴「カブキ・シューズ」	1964年	青色のベルベット。金色にペイントした木製ソール。	島根県立石見美術館
14	イヴ・サンローラン	イブニング・スーツ	1967年頃	黒色のサテンによりトリミングされた黒色のウールのイブニング・スーツ。	島根県立石見美術館
15	ヴィヴィアン・ウエストウッド	イブニング・ドレス	1990年	黒色絹ベルベットのストレッチ素材のコレクション、パッドのはいたバスル付きガーター風のボトム。	島根県立石見美術館
16	ヴィヴィアン・ウエストウッド	ショール付イブニング・ドレス「サロン」	1992年	透けた黒のストレッチ素材。共布のショール付き。	島根県立石見美術館

新聞、雑誌掲載

朝日新聞6月13日 展覧会情報

山陰中央新報7月6日 展覧会情報

山陰中央新報7月28日 展覧会情報

展示室C 50-60年代ファッション

会 期：平成26年8月7日(木)～9月29日(月)

内 容：1950-60年代の日本のデザインを紹介する企画展「美しい日本のデザイン」展にあわせ、同時代の欧米のファッションデザインを紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1950～51年	濃い青の絹タフタのカクテル・ドレス。ホルター・ネック、前面にボタン、バルーンスカート、ベルト付き。	島根県立石見美術館
2	クリスチャン・ディオール	ディナー・ドレス「カラカス」	1953年	バラのプリントの絹シフォン。裏地はピンクの絹オガンザ。パフ・スリーブ、後ろ身頃にくるみ釦。巻きスカート。コレクションとアンダースカート付き。	島根県立石見美術館
3	ピエール・バルマン	イブニング・ドレス	1955年頃	黒の絹ベルベットと絹ファイユ。背にくるみ釦飾り。チュール地とホースヘアを6段に重ねたベチコート付き。	島根県立石見美術館
4	クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒いバラのモチーフのある白いレース地のワンピース・ドレス「ヘビー・ドール・ドレス」。絹シフォンのアンダードレス付き。	島根県立石見美術館
5	クリスチャン・ディオール／イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス	1958年	銀の絹サテン、裏地は絹ゴーズ。七分丈のラグランスリーブ。幅広の帯風のベルト。ボーン入りコレクションとガーター、ベチコート付き。	島根県立石見美術館
6	クリスチャン・ディオール／マルク・ボアン	ディナー・ドレス	1961年	ピーコック・ブルーの絹。裏地は青の絹オーガンザ。七分丈スリーブ。左右が不均等なボレロ風ジャケット。	島根県立石見美術館
7	パコ・ラバンヌ	イブニング・ドレス	1966年	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具でつなぎ合わせたミニ・ドレス。	島根県立石見美術館
8		ペーパー・ドレス「スーパー・ドレス」	1966年頃	「キャンベル・スーパース・カン」のプリントを施したセルロースと綿の不織布。	島根県立石見美術館
9	ルディ・ガンライヒ	ミニ・ドレス、ピキニス	1967年	ライム・グリーンとブルーのウール・ニット。ビニールのインサージョン。	島根県立石見美術館
10	アンドレ・クレージュ	ディ・アンサンブル	1965～67年	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のワンピース・ドレス。裏地はクリーム色の絹。	島根県立石見美術館
11	イヴ・サンローラン	カクテル・ドレス、ケープ	1967～68年	カクテル・ドレスとケープのアンサンブル。ボティスはスパンコール飾り等で刺繍。スカート、ケープには黄色のオストリッチ・フェザー。	島根県立石見美術館
12	ザンドラ・ローズ	カフタン風ワンピース・ドレス	1969年	絹シフォンに黒、黄、緑で円形、チェーンステッチ柄、波形をプリント。フード付き。	島根県立石見美術館
13		TIME誌 表紙	1967年12月1日	ガンライヒとその作品を着たモデルが表紙	島根県立石見美術館

新聞、雑誌掲載

山陰中央新報8月8日 展覧会紹介記事

展示室C 天と地—澄川喜一の彫刻—

会 期：平成26年11月21日(金)～12月8日(月)

内 容：彫刻家・澄川喜一の制作手法は、木の閑かな声に耳を傾け、表に引き出す(=惹き出す)という感覚で行われる。そのためか、凛とした立ち姿は大地にしっかり根をはり、造形の予先は、空に無限に伸びていくようである。木の本质である「そり」と「むくり」をテーマに、研ぎ澄まされた感性で表出される、柔と和の創作空間を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	澄川 喜一	《マジック・ボックス》	昭和50年(1975)	御影石・樺・杉	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
2	澄川 喜一	《そりのあるかたち》	昭和54年(1979)	樺・カラントス	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
3	澄川 喜一	《MASK》	昭和57年(1982)	樟・カラントス	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
4	澄川 喜一	《そりとそぎのあるかたち83》	昭和58年(1983)	樺・松	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
5	澄川 喜一	《そりのあるかたち》	昭和60年(1985)	樺	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
6	澄川 喜一	《そりのあるかたち》	平成8年(1996)	ブロンズ	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
7	澄川 喜一	《MASK》	平成10年(1998)	桜・カラントス・樺	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
8	澄川 喜一	《そりのあるかたち01-2》	平成13年(2001)	樺・松・チーク	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
9	澄川 喜一	《そりのあるかたち02-3》	平成14年(2002)	樺・檜	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
10	澄川 喜一	《そりのあるかたち04》	平成16年(2004)	樺・ステンレス	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
11	澄川 喜一	《瀧》	平成17年(2005)	杉・樺	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
12	澄川 喜一	《そりのあるかたち05》	平成17年(2005)	神代樺・樺・檜	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
13	澄川 喜一	《そりのあるかたち》	平成19年(2007)	樺・杉	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
14	澄川 喜一	《木霊》	平成19年(2007)	檜・樺	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
15	澄川 喜一	《木の華》	平成19年(2007)	杉・樺・カラントス	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
16	澄川 喜一	《MASK》	平成19年(2007)	チーク・樺	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
17	澄川 喜一	《そりのあるかたちA》	平成23年(2011)	樺	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)
18	澄川 喜一	《そりのあるかたちB》	平成24年(2012)	樺	個人蔵(島根県立石見美術館寄託)

展示室C ウィーンファッションと工芸

会 期：平成27年2月19日(木)～4月6日(月)

内 容：20世紀初めに、オーストリアの「ウィーン工房」で制作された工芸品やドレス、デザイン画などを展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ダゴベルト・ベッヒエ	着衣の少女		手彩色木版、紙	島根県立石見美術館
2	ウィーン工房	モード・ウィーン1914/15(全12点)	1914～15年	手彩色木版、紙	島根県立石見美術館
3	マリア・リカルツ	無題	1916年	水彩、紙	島根県立石見美術館
4	マリア・リカルツ	無題	1916年	水彩、紙	島根県立石見美術館
5	ダゴベルト・ベッヒエ	テキスタイル「ヴンダーバウム」	1911～16年	プリント、絹	島根県立石見美術館
6	フェリス・リックス＝ウエノ	テキスタイル「クレムリン」	1929年	プリント、絹	島根県立石見美術館
7	ダゴベルト・ベッヒエ	ネック・バンド	1919年頃	ビーズ	島根県立石見美術館
8	マリア・リカルツ	バッグ	1919年	ビーズ	島根県立石見美術館
9	ウィーン工房	婦人の生活(全20点)	1916年	手彩色木版、紙	島根県立石見美術館
10	ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1912年	陶器	島根県立石見美術館
11	ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1920～21年	銀	島根県立石見美術館
12	ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙	島根県立石見美術館
13	ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ	1916年	銀、象牙	島根県立石見美術館
14		プレスレット	1930年頃	銀	島根県立石見美術館
15	ダゴベルト・ベッヒエ	テーブルセンター	1919～20年	絹	島根県立石見美術館
16	ダゴベルト・ベッヒエ	カフタン テキスタイル「レインボー」	1919年頃	色を濃淡にぼかした縞模様プリント。	島根県立石見美術館
17	マックス・スニシェク	ドレス テキスタイル「エロス」	1926年頃	絹にプリント。襟元にヒダ飾りのついたスクエアのネックライン。伸縮性のある袖口。	島根県立石見美術館
18	マックス・スニシェク	ドレス テキスタイル「バイエル」	1928年頃	絹にプリント。ウエストに二つのポケット。黒の絹の縁。	島根県立石見美術館
19	マックス・スニシェク	ドレス テキスタイル「ゼレニカ」	1929年	濃い青で縁取られたウエストまで届くV字の襟、袖も青の絹で縁取り。	島根県立石見美術館

新聞、雑誌掲載

山陰中央新報2月21日 展覧会情報

第33回 益田市美術展

会 期：平成26年5月8日(水)～5月11日(日)
会 場：展示室D
主 催：益田市美術展実行委員会

第13回 益田書道展

会 期：平成26年11月22日(土)～11月24日(月・祝)
会 場：展示室D
主 催：益田書道会

第47回島根県総合美術展(県展)移動展

会 期：平成26年11月27日(木)～11月30日(日)
会 場：展示室D
主 催：島根県、島根県文化団体連合会、美術関係諸団体

全島根小中学校図画作品展 益田展

会 期：平成27年2月27日(金)～3月2日(月)
会 場：展示室D
主 催：島根県造形教育研究会、島根県立石見美術館

【出前講座】

学芸員による「出前講座」を、美術館開館前の平成15年度より実施している。今年度は2回実施した。

松江市小学校教育研究会 図画・美術研修会

「アートカードを用いた「対話による鑑賞」の授業について」

日 時：平成27年1月16日(金)

講 師：廣田 理紗

参 加 者：松江市小学校教育研究会 図画・美術部教員

会 場：島根県立美術館

安来市小・中学校教育研究会 図画・美術研修会

「アートカードを用いた「対話による鑑賞」の授業について」

日 時：平成27年1月16日(金)

講 師：廣田 理紗

参 加 者：安来市小・中学校教育研究会 図画・美術部教員

会 場：島根県立美術館

【館外での講座・講演など】

講演「かいて、つながるー表現者、大下藤次郎の魅力」

日 時：平成26年5月31日(日)14:00～

講 師：川西 由里

会 場：千葉市美術館講堂

*千葉市美術館で開催の企画展「島根県立石見美術館所蔵 水彩画家・大下藤次郎」の関連イベントのひとつとして

講演「明治期の出雲焼ー出雲・布志名焼の輸出陶器の変化について」

日 時：平成26年6月22日(日)13:30～

講 師：河野 克彦

会 場：瀬戸市民文化センター

*近代国際陶磁研究会講演会として

「トリメガ研究所トークショー：美少女って何？」

日 時：平成26年7月13日(日)13:30～15:00

講 師：川西 由里、工藤 健志、村上 敬

会 場：青森県立美術館ワークショップA室

*青森県立美術館で開催の企画展「美少女の美術史」の関連イベントのひとつとして。展覧会企画グループ「トリメガ研究所」の一人である当館川西が、他のメンバー2人と共に展覧会のなりたちなどについて話した。

土居ノートの展示プラン・ワークショップ「土居次義と大下藤次郎」

日 時：平成26年9月6日(土)

講 師：川西 由里

会 場：大阪大学豊中キャンパス

*文化庁「大学を活用押した文化芸術推進事業」、「土居次義記憶と絵画」のためのリサーチ・セミナーとして開催

「トリメガ研究所トークショー」

日 時：9月20日(土)14:00～15:30

講 師：川西 由里、工藤 健志、村上 敬

会 場：静岡県立美術館講堂

*静岡県立美術館で開催の企画展「美少女の美術史」の関連イベントのひとつとして。展覧会企画グループ「トリメガ研究所」の一人である当館川西が、他のメンバー2人と共に展覧会のなりたちなどについて話した。

講演会「地域文化の活性化と造形の役割」

日 時：平成26年9月23日(火・祝)13:30～14:30
 講 師：澄川 喜一(当館館長)
 会 場：安来市民会館ホール

シンポジウム「郷土の先輩 彫刻家・米原雲海を語る」

日 時：平成26年9月23日(火・祝)15:00～16:30
 コーディネーター：左近充 直美
 シンポジスト：井田 勝己氏、富田 憲二氏、清水 洋一氏、近田 裕喜氏
 会 場：安来市民会館ホール

講座「森鷗外ゆかりの美術家たち」

日 時：平成26年10月14日(火)13:00～15:00
 講 師：川西 由里
 参 加 者：シマネスクくにびき学園西部校2年生(10名)
 会 場：いわみへる

**トーク&レクチャー「美少女展仕掛け人トリメガ研究所と考える
地方美術館の運営と展覧会企画」**

日 時：平成26年10月18日(土)18:00～20:00
 講 師：川西 由里、工藤 健志、村上 敬
 会 場：青山ブックセンター本店 大教室
 *企画展「美少女の美術史」を企画した青森県立美術館・静岡県立美術館・
 島根県立石見美術館の学芸チーム「トリメガ研究所」を講師としたレクチャー

シンポジウム「美少女とファッション「美少女の美術史」展から考える」

日 時：平成26年11月3日(月・祝)18:00～20:00
 パネリスト：川西 由里ほか
 会 場：coromoza fashion laboratory(東京)
 *企画展「美少女の美術史」を企画した青森県立美術館・静岡県立美術館・
 島根県立石見美術館の学芸チーム「トリメガ研究所」として登壇

**研究発表「展示室でショータイム! 所蔵品の魅力を引き出す、話芸と
音楽による作品鑑賞」**

日 時：平成26年11月6日(木)14:40～15:00
 講 師：川西 由里
 会 場：松江歴史館
 *日本博物館協会中国支部・しまねミュージアム協議会合同研修会の一環として

実践発表「石見美術館 mite! 展から」

日 時：平成26年11月29日(土)13:15～14:00
 講 師：廣田 理紗
 会 場：サンラポーむらくも
 *美術による学び研究会2014inしまね(第9回鑑賞教育フォーラム)の一環として

講座「日本の仏像」

日 時：平成27年1月23日(金)13:00～15:00
 講 師：椋木 賢治
 参 加 者：シマネスクくにびき学園西部校1年生(8名)
 会 場：いわみへる

講座「日本の仏像」

日 時：平成27年2月10日(火)13:00～15:00
 講 師：椋木 賢治
 参 加 者：シマネスクくにびき学園西部校2年生(10名)
 会 場：いわみへる

ボランティア



ワークショップ「トーマスのペーパークラフトを作ろう」

当館では開館以前から、市民がボランティアとして積極的に事業に参加してきた。現在のボランティア全体のボランティア会の組織は、映画、イベント、ワークショップ、放送、劇場フロント、ギャラリートーク、発送、クリーンアップ、生け花、情報発信の10のグループからなっている。そのうち美術館では「ワークショップグループ」と「ギャラリートーク」のグループが活動している。

【ギャラリートークボランティア】

平成26年度の活動なし

【ワークショップボランティア】

美術館で開催するワークショップをはじめとする教育普及事業では、ボランティアスタッフがアシスタントとして事業に関わっている。

活動記録

5月31日、6月21日、7月19日

企画展「きかんしゃトーマスとなかまたち」関連イベント・ワークショップ「トーマスのペーパークラフトを作ろう」にて、ワークショップの補助を行った。

8月22日、23日

企画展「美しい日本のデザイン」関連イベント・ワークショップ「子ども服飾デザイン研究室 vol.1 石見美術館の制服をデザインしよう」にて、ワークショップの補助を行った。



ワークショップ「石見美術館の制服をデザインしよう」

1. いわみ美術回廊

平成14年4月1日 いわみ美術回廊がスタート

参加館：津和野町立安野光雅美術館、三隅町立石正美術館、浜田市世界こども美術館、葛飾北斎美術館、杜塾美術館、益田市立雪舟の郷記念館、今井美術館（以上7館）

活動内容：①情報コーナーの各館設置②ポスター製作③チラシ製作④加盟館各館の諸催し物の情報をPR誌等へ掲載⑤サービスカードの発行と加盟館全館観覧終了者に記念品（7館グッズ詰め合わせ）贈呈⑥情報交換会の開催

平成17年10月 島根県立石見美術館が加盟し、8館体制となる。

2. 萩・益田・津和野美術回廊

平成17年度スタート

参加館：山口県立萩美術館・浦上記念館、益田市立雪舟の郷記念館、津和野町立安野光雅美術館、森鷗外記念館、島根県立石見美術館（以上5館）

活動内容：半券等の提示による相互割引制度

3. 「雪舟さん」および「雪舟小僧さん」

年間パスポート「雪舟さん」 2,000円

○加入施設（4施設）

医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発行の日から1年間、上記4施設に何回でも入館・入園可能

購入者に同行する4名までは、団体料金扱いで入館・入園可能

○下記施設には割引料金で入館

・島根県立石見美術館（コレクション展・企画展）、浜田市立石正美術館、浜田市世界こども美術館（館主催の展示のみ）

益田散策チケット「雪舟小僧さん」 1,300円

○加入施設（5施設）

島根県立石見美術館（コレクション展のみ）、医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発売（使用開始）の日から3日間、お一人様

1施設1回に限り有効。

4. 割引制度

下記に掲げる乗車券、観覧券等を提示した場合、割引制度が利用可能。

① 石見交通株式会社、中国JRバスが運行する東京からの高速バス往復乗車券

② 石見交通株式会社、阪神電気鉄道が運行する大阪からの高速バス往復乗車券

③ 石見交通株式会社、広島電鉄が運行する広島からの高速バス往復乗車券

④ 大田市以東島根県東部の各JR駅からJR益田駅までの往復乗車券

⑤ 萩・石見空港発着の航空券

⑥ 島根県立石見美術館を除くいわみ美術回廊加盟館の観覧券（半券）

⑦ 山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館の観覧券（半券）

⑧ 島根県立いわみ芸術劇場で開催される催し物（当日のみ有効）の有料入場券（半券）

⑨ 提携館が発行する年間パスポート（期限内）

・足立美術館・医光寺・今井美術館・大原美術館・尾道市立美術館・サントリー美術館・津和野町立安野光雅美術館・島根県立古代出雲歴史博物館・島根県立美術館・浜田市世界こども美術館・浜田市立石正美術館・広島県立美術館・広島市現代美術館・ひろしま美術館・益田市立雪舟の郷記念館・益田市立歴史民俗資料館・萬福寺・杜塾美術館・山口県立萩美術館・浦上記念館・山口県立美術館

⑩ 提携カード

・しまねカード（島根県広島事務所）・しまね子育て応援パスポート（島根県少子化対策推進室）・ちゅーピーくらぶ（株式会社中国新聞社）・ドゥブレ（財団法人広島勤労者職業福祉センター）・とっとり子育て応援パスポート（鳥取県子育て支援総室）・やわらぎカード（株式会社オーエムシーカード）・ゆめカード（株式会社ゆめカード）・JAカード（三菱UFJニコス株式会社）・JAF（社団法人日本自動車連盟）・SDカード（自動車安全運転センター）

所蔵作品一覧

日本画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
池田 蕉園	小松引	大正時代前期	絹本着色 掛幅装	139.4×51.2
池田 輝方	絵師多賀朝湖流さる	1919年	絹本着色 六曲屏風一双	右193.7×394.4 左193.9×396.0
伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	143.8×50.8
今尾 景年	花鳥図	明治時代～大正時代	絹本着色 六曲屏風一双	各156.0×349.5
今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	1900年	絹本着色 六曲屏風一双	各154.9×355.4
雲谷 等益	四季山水図	1615～1624年	紙本墨画淡彩 八曲屏風一双	各85.1×354.0
雲谷 等益	山水図	1630年代	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各156.5×359.4
雲谷 等顔	山水人物花鳥図	1600～1618年頃	紙本墨画淡彩 六曲押絵貼屏風一双	各紙121.8×53.3
雲谷 等的	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	30.9×57.9
雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期	絹本墨画淡彩 掛幅装三幅対	各103.3×34.5
雲谷派	耕作図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 六曲屏風一隻	152.2×346.2
榎本 千花俊	揚揚戯	1933年	絹本着色 額装	221.2×173.6
榎本 千花俊	池畔春興	1932年	絹本着色 額装	261.0×207.3
榎本 千花俊	口紅を描く	1935年	絹本着色 掛幅装	139×57
榎本 千花俊	春雪	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	131×42
岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図	1848年	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各159.4×363.0
海北 友松	祖師図(達磨・巖頭)	桃山時代	紙本墨画 掛幅装双幅	各106.5×50.6
柿内 青葉	池	1933年	絹本着色 掛幅装	128×42
狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	江戸時代後期	絹本墨画 掛幅装	34.2×64.7
狩野 松栄	益田元祥像	1582～1592年頃	絹本着色 掛幅装	108.4×51.7
鏡木 清方	花見幕	昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	141.2×50.6
川村 曼舟	牧牛図	大正時代	絹本着色 六曲屏風一隻	152.0×356.0
菊池 華秋	雪晴	1938年	絹本着色 額装	189.8×202.2
菊池 隆志	室内	1934年	紙本着色 額装	146.4×164.4
菊池 隆志	初夏遊園	1928年	絹本着色 額装	206.0×112.8
北野 以悦	春	1931年	絹本着色 額装	191.0×142.0
北野 恒富	むすめ	1925年	紙本着色 額装	190.5×89.0
北野 恒富	狂女	大正時代～昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	130.0×50.0
啓孫	騎驢人物図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	91.0×31.0
近衛 信尹	渡唐天神図	桃山時代	紙本墨画 掛幅装	95.0×39.2
小早川 清	旗亭涼宵	1933年	絹本着色 額装	197.0×113.0
小早川 清	宵	1936年	絹本着色 額装	216.8×111.7
小堀 鞆音	舞楽図	明治時代末期～昭和時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各162.3×358.2
斎藤 等室	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	31.0×50.6
島崎 柳塙	汐風	明治時代後期	絹本着色 掛幅装	109.0×48.6
周恵	達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.7×28.0
曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本墨画 掛幅装	134.8×52.2
曾我 宗丈	面壁達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.0×33.0
曾我 二直菴	鷲鷹図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装双幅	各118.0×51.8
曾田 友栢	達磨図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 掛幅装	27.1×23.6
尊俊	竜虎図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装双幅	各86.9×43.0
竹内 栖鳳	藤花薺花群犬図	1889年	紙本着色 六曲屏風一双	各155.0×360.0
田中 頼璋	白雲紅樹	1934年	絹本着色 額装	226.0×174.5
田中 頼璋	林和靖愛鶴図	1935年	絹本着色、軸	129.4×41.6
谷 文晁	滝図	1828年	絹本着色 掛幅装双幅	各96.7×35.4
寺崎 広業	竹裡館観月	明治時代後期～大正時代初期	絹本着色 掛幅装	139.6×70.8
等碩	牧童図	室町時代後期	紙本墨画淡彩 掛幅装	26.3×33.7
富岡 鉄斎	江山招隠図	1907年	絹本着色 掛幅装	111.0×42.6
中林 竹洞	湖山清遠図	1834～1837年	絹本墨画 掛幅装	144.2×53.5
中林 竹洞	秋卉鴛鴦図	1831年	絹本着色 掛幅装	128.7×42.4
中林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代後期	絹本着色 掛幅装	112.8×52.6
西 晴雲	湖南漁舟・緑陰仙居図	1928年	紙本着色 六曲屏風一双	各154.4×381.0
西 晴雲	四季花木図	1920～1925年頃	紙本着色 掛幅装四幅対	各167.8×47.3
橋本 明治	莊園	1934年	絹本着色 額装	233.6×142.2
橋本 明治	蓮を聴く	1936年	絹本着色 額装	156.8×221.8
長谷川派	武蔵野図	桃山時代～江戸時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各165.8×367.2
平福 百穂	七面鳥・鴨	1914年	紙本着色 掛幅装双幅	各124.8×59.1
広田 多津	ふたり	1938年	紙本着色 額装	204.6×135.3
不二木 阿古	爽朝	1941年	絹本着色 掛幅装	129×41

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治時代前期	絹本着色 額装	102.0×45.2
松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治時代末期～大正時代	絹本着色 掛幅装	125×71
松本 楓湖	八岐大蛇図	1909年	絹本着色 掛幅装	150×70
円山 応挙	柿本人麿像	1765年頃	紙本墨画 掛幅装	93.8×28.0
武藤 嘉門	ショーウィンドウ	1937年	紙本着色 額装	242.7×546.0
山田 喜作	真夏の港	1932年	絹本着色 額装	212.3×197.8
山田 喜作	湘南初夏	1931年	絹本着色 額装	245×174.5
山田 道安	芦雁図	室町時代末期～桃山時代初期	紙本墨画 掛幅装	各86.6×40.4
山本 栞谷	年中行事図	江戸時代末期	紙本着色 六曲押絵貼屏風一双	各139.0×304.2
山本 栞谷	瀧見観音図	江戸時代末期	紙本墨画淡彩 掛幅装	106.0×29.6
山本 栞谷	月下横臥図	1860年	絹本淡彩 掛幅装	159.0×50.7
山本 梅逸	山水図	1833年	紙本墨画 掛幅装	127.6×57.0
横山 大観	水温む	1954年	紙本墨画 額装	70.0×92.2
不詳	舞踊図	江戸時代初期	紙本金地着色 二曲屏風一隻	149.6×170.0
不詳	人麿像	江戸時代前期～中期	紙本金地着色 六曲屏風一隻	145.0×355.3
不詳	遊女柳橋扇面流図	江戸時代前期	紙本着色 六曲屏風一隻	108.6×343.0

油彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	芙蓉湖	1950年	油彩、カンヴァス	72.5×91.0
岩本 拓郎	無題	1978年	アクリル、シナベニヤ、角材	145.0×382.0
岩本 拓郎	無題	1979年	アクリル、シナベニヤ、角材	182.0×358.0
大下 藤次郎	野の道	1894～97年頃	油彩、カンヴァス	23.5×17.5
岡田 三郎助	黒き帯	1915年	油彩、カンヴァス	62.0×45.3
香月 泰男	ヴァンドーム広場	1973年	油彩、カンヴァス	91.0×48.0
香月 泰男	鯉と犬	1950年	油彩、カンヴァス	60.1×40.7
鹿子木 孟郎	加茂ノ森	1923年	油彩、カンヴァス	100.0×100.0
鹿子木 孟郎	舞子の浜	1914年	油彩、カンヴァス	76.0×40.0
川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正時代～昭和時代初期	油彩、絹本	23.0×74.0
岸田 劉生	静物	1920年	油彩、カンヴァス	39.6×52.0
黒田 清輝	ポプラの黄葉	1891年	油彩、カンヴァス	65.4×80.8
黒田 清輝	裸体	1889年	油彩、カンヴァス	80.0×43.8
児島 善三郎	椅子による	1925～28年頃	油彩、カンヴァス	130.3×97.0
小堀 四郎	プルターニユの男	1930年	油彩、紙	41.0×32.8
椿 貞雄	冬瓜南瓜図	1947年	油彩、カンヴァス	37.7×90.9
寺戸 恒晴	持石海岸	1977年	油彩、紙	26.8×37.8
東郷 青児	婦人像	1930～35年頃	油彩、カンヴァス	65.0×53.0
堂本 尚郎	宇宙 I	1978年	アクリル、カンヴァス	200.0×600.0
中尾 彰	川村(冬景)	1923年	油彩、カンヴァス、額装	72.9×91.0
中尾 彰	山麓	1955年	油彩、カンヴァス、額装	73.0×116.5
中川 八郎	初秋の夕	1919年	油彩、カンヴァス	94.5×121.6
長原 孝太郎	風景	1921年	油彩、板	32.7×24.0
中村 不折	裸体	1903～05年頃	油彩、カンヴァス	99.8×79.7
中村 不折	裸婦	1900～20年頃	油彩、カンヴァス	80.0×60.7
原田 直次郎	男児肖像	1887～98年頃	油彩、カンヴァス	30.3×21.9
藤島 武二	西洋婦人像	1908～09年頃	油彩、カンヴァス	58.3×39.1
藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	1923年	油彩、カンヴァス	170.0×224.0
藤田 嗣治	婦人像	1939年	油彩、カンヴァス	57.6×71.2
満谷 国四郎	風景	1913～25年頃	油彩、カンヴァス	53.0×45.5
満谷 国四郎	雑木林	1922年	油彩、カンヴァス	45.5×53.3
宮 芳平	風景	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	32.0×41.0
宮 芳平	自画像	1920年	油彩、カンヴァス	53.3×45.7
安井 曾太郎	水浴図	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	91.0×72.0
山崎 修二	二人の少女	1931年	油彩、カンヴァス	130×96.5
山崎 修二	少女像	1931年	油彩、カンヴァス	100.0×81.0
山崎 修二	初冬	1936年	油彩、カンヴァス	130.0×161.0
山崎 修二	夏	1936年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	残雪のある庭	1938年	油彩、カンヴァス	111.0×144.0
山崎 修二	髪	1939年	油彩、カンヴァス	131.0×97.0
山崎 修二	風景(仮題)	1941年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	窓辺の静物	1950年	油彩、カンヴァス	91.0×116.5
山崎 修二	山懐の早春	1953年	油彩、カンヴァス	91.0×73.0
山崎 修二	緑の静物	1955年	油彩、カンヴァス	130.0×80.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
山崎 修二	港通りの家	1998年	油彩、カンヴァス	53.0×66.0
山中 徳次	木部海岸(大谷)	1936年頃	油彩、板	24.5×33.0
山本 鼎	筍	1938年	油彩、カンヴァス	41.2×53.3
吉田 博	風景	1911～20年頃	油彩、カンヴァス	60.6×50.0
和田 英作	風景	1914年	油彩、カンヴァス	52.2×71.6
和田 英作	海神	1918年	油彩、カンヴァス	53.0×41.0
ガブリエル・フォン・マックス	聖女テレゼ・メルル	1868年	油彩、カンヴァス	67.8×55.8
ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	19世紀末～20世紀初期	油彩、カンヴァス	85.4×65.2
ラウル・デュフィ	水上の祭	1920～22年頃	油彩、カンヴァス	
ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	65.0×54.0

版画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
饗嘸	鳳凰 I	1983年	紙、シルクスクリーン	31.0×30.0
畦地 梅太郎	火の山	1973年	木版、紙	29.5×22.1
畦地 梅太郎	ささやき	1978年	木版、紙	25.0×26.0
畦地 梅太郎	園谷の残雪	1967年	木版、紙	46.6×37.3
畦地 梅太郎	鳥と山男	1983年	木版、紙	36.8×46.8
有元 利夫	1983年展覧会ポスター	1983年	銅版、紙	48.7×35.2
石井 柏亭	木場	1914年	木版、紙	24.0×18.0
織田 一磨	石見有福温泉	1925年	木版、紙	39.0×27.0
岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	1919年	木版、紙	70.0×25.5
小林 敬生	蘇生の刻—早春	1988年	木口木版、紙	35.7×25.3
笹島 喜平	不動明王No90	不詳	木版、紙	47.0×34.8
殿敷 侃	釘(仮題)	不詳	銅版、紙	26.9×31.3
杉浦 非水	産業組合中央会 第二次産業組合拡充三ヶ年計画	1937年	印刷、紙	81.0×57.0
杉浦 非水	東亜ペイント製造株式会社 銅化塗料ノーワン	1920年代	印刷、紙	65.3×37.8
杉浦 非水	宮崎県 日向の早熟 蔬菜と果実	1928年	印刷、紙	106.1×74.9
永瀬 義郎	折り	1956年	木版、紙(紺紙金刷)	51.0×38.0
永瀬 義郎	画家	1963年	木版、紙	61.0×43.5
永瀬 義郎	祭壇の処女	1975年	リトグラフ、紙	80.3×65.0
平塚 運一	裸婦百態「芝生」	1995年	木版、紙	22.0×18.0
古沢 岩美	裸婦(仮題)	不詳	銅版、紙	22.8×18.0
宮 芳平	自画像	1934年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	黒百合	1934年	エッチング、紙	12.2×9.0
宮 芳平	門	1934年	エッチング、紙	9.1×2.0
宮 芳平	八ヶ嶽	1934年	エッチング、紙	8.7×18.2
宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	御神木	1934年	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	水	1935年頃	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	雨 その1	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.4
宮 芳平	雨 その2	1935年頃	エッチング、紙	9.0×10.8
宮 芳平	コスモス	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	雲	1933年	エッチング、紙	10.0×12.0
宮 芳平	田舎(三日月)	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	茄子	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	おぼろの太陽	1935年頃	エッチング、紙	18.0×9.0
宮 芳平	松	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	昭子像	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	自画像(眼を病める)	1935年	エッチング、紙	11.8×9.0
宮 芳平	旧校舎(雪)	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	室内	1935年	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	月(望月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	コーヒーわかし	1935年	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	山(年賀状)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	ポプラと湖	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	枯野	1935年頃	エッチング、紙	6.0×6.3
宮 芳平	水辺	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
宮 芳平	山湖	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	郊外	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	叢	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山(冬の裏山)	1935年頃	エッチング、紙	10.0×8.0
宮 芳平	もろこしとトマト	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山と月	1935年頃	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	庭の花(すみれ)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(桜草)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(くりん草)	1935年頃	エッチング、紙	6.2×6.0
宮 芳平	茄子の木	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	裏山	1935年頃	エッチング、紙	12.0×18.0
宮 芳平	湖と乙女	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	湖と乙女(月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	実のなる木	1935年	エッチング、紙	8.8×12.0
アンリ・ド・トゥルーズ=ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892～93年	リトグラフ、紙	80.8×60.8
ウィーン工房(フレール、リックス他)	「女性の生活」(20点組)	1916年	木版・一部水彩加筆、紙	39.5×29.5
ジャン=エミール・ラブレール	マリー・ローランサンの肖像	1914年	木版、紙	25.0×22.0
ジャン=エミール・ラブレール	ビュット・ショーモン公園風景	1921年	エッチング、紙	20.0×23.0
ジョルジュ・ルパープ	『ポール・ボワレの作品』	1911年	ファッションプレート12枚 エキストラプレート3枚	
ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』	1925年	ファッションプレート20枚	57.0×38.5
ダゴベルト・ベッヒエ	着衣の少女	不詳	彩色、版画	30.0×22.5
テオフィル=アレクサンデル・スタンラン	オートバイ・コミオ	1899年	リトグラフ、紙	200.0×140.0
ピエール・ボナール	雑誌『ルヴュ・ブランシュ』のためのポスター	1894年	リトグラフ、紙	80.0×62.0
ポール・イリーブ	『ポール・ボワレのドレス』	1908年	ファッションプレート10枚	
ラウル・デュフィ	狩猟	1910年頃	木版、紙	21.0×64.0
ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	31.2×31.3
ロッテ・カルム	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ガビ・メーシュル	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ゲルトルト・ヴァインベルガー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ダゴベルト・ベッヒエ	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
フリッツィ・レーヴ	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
マックス・スニシェク	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
	『ガゼット・デュ・ボン・トン』	1912～25年	冊子69冊、ファッションプレート721枚	
	『モード・エ・マニエル・ドールジュルドウイ』	1912～22年	冊子7冊、ファッションプレート84枚	
	『ジュルナル・ダム・エ・デ・モード』	1912～14年	冊子80冊、ファッションプレート188枚	

水彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
五百城 文哉	富士図	1893~1906年頃	水彩、紙	62.0×94.0
大下 藤次郎	下駄屋の店先	1892年	水彩、紙	18.8×23.8
大下 藤次郎	貸家の裏口	1892年	水彩、紙	27.0×15.4
大下 藤次郎	風景習作1	1892年	水彩、紙	14.5×20.0
大下 藤次郎	人物習作1	1892年	水彩、紙	21.8×14.0
大下 藤次郎	呉服屋	1892年	水彩、紙	18.4×25.8
大下 藤次郎	風景習作2	1892年	水彩、紙	23.4×32.4
大下 藤次郎	門と人物1	1892年	水彩、紙	28.2×21.6
大下 藤次郎	西総田舎の景	1893年	水彩、紙	29.6×38.0
大下 藤次郎	風景習作3	1893年	水彩、紙	22.0×14.3
大下 藤次郎	風景習作4	1893年	水彩、紙	16.6×24.4
大下 藤次郎	風景習作5	1893年	水彩、紙	14.0×21.0
大下 藤次郎	門と人物2	1893年	水彩、紙	22.6×14.9
大下 藤次郎	門と人物3・小石川	1893年	水彩、紙	22.6×15.1
大下 藤次郎	橋のある風景	1893年	水彩、紙	13.7×20.9
大下 藤次郎	つり	1895年	水彩、紙	15.5×24.2
大下 藤次郎	京都近郊	1895年	水彩、紙	11.3×17.8
大下 藤次郎	川口	1895年	水彩、紙	12.3×17.4
大下 藤次郎	風景習作6・ 28年10月13日	1895年	水彩、紙	23.8×15.2
大下 藤次郎	風景習作7・ 28年10月17日	1895年	水彩、紙	15.2×22.2
大下 藤次郎	風景習作8・ 28年10月20日	1895年	水彩、紙	13.8×23.6
大下 藤次郎	穴森神社	1895年	水彩、紙	14.2×18.7
大下 藤次郎	武州七国峠	1895年	水彩、紙	13.9×24.1
大下 藤次郎	相州塩川瀑	1895年	水彩、紙	24.4×15.5
大下 藤次郎	八王子河原	1895年	水彩、紙	13.3×18.6
大下 藤次郎	荒川	1895年	水彩、紙	13.2×23.7
大下 藤次郎	富山	1895年	水彩、紙	14.9×24.2
大下 藤次郎	塔のある風景(三重の塔)	1896年	水彩、紙	32.5×21.4
大下 藤次郎	日暮里	1896年	水彩、紙	18.3×29.8
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.4×32.8
大下 藤次郎	多摩川上流	1896年	水彩、紙	21.0×32.4
大下 藤次郎	小石川	1896年	水彩、紙	21.7×30.0
大下 藤次郎	館山	1896年	水彩、紙	21.2×32.6
大下 藤次郎	小丹波	1896年	水彩、紙	31.5×21.1
大下 藤次郎	五重塔	1896年	水彩、紙	31.7×20.8
大下 藤次郎	天真院	1896年	水彩、紙	25.4×17.8
大下 藤次郎	三門	1896年	水彩、紙	19.2×27.1
大下 藤次郎	賀茂	1896年	水彩、紙	32.3×20.3
大下 藤次郎	桜	1896年	水彩、紙	21.7×13.9
大下 藤次郎	境内	1896年	水彩、紙	15.3×21.6
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.8×32.2
大下 藤次郎	白丸	1896~1897年頃	水彩、紙	20.6×32.2
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	44.0×34.6
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	43.9×29.3
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	29.4×22.4
大下 藤次郎	富士を望む	1897年	水彩、紙	19.2×32.4
大下 藤次郎	日光	1897年	水彩、紙	25.6×39.2
大下 藤次郎	巢鴨の牛小屋	1897年	水彩、紙	20.6×32.6
大下 藤次郎	越ヶ谷	1897年	水彩、紙	19.8×32.0
大下 藤次郎	綾瀬	1897年	水彩、紙	18.2×31.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.7×32.6
大下 藤次郎	相模(AKIYA SAGAMI)	1897年	水彩、紙	21.4×33.0
大下 藤次郎	ニューヘヴン	1897年	水彩、紙	30.6×20.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.4×32.5
大下 藤次郎	巢鴨	1897年	水彩、紙	18.2×30.0
大下 藤次郎	風景習作9	1897年	水彩、紙	20.4×31.0
大下 藤次郎	栗田	1897年	水彩、紙	15.7×31.4
大下 藤次郎	武蔵	1897年	水彩、紙	31.2×21.7
大下 藤次郎	浜辺の船	1898年	水彩、紙	19.2×33.0
大下 藤次郎	坂本	1898年	水彩、紙	24.9×38.1

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	宮の下	1898年	水彩、紙	25.4×39.4
大下 藤次郎	シドニー南端	1898年	水彩、紙	22.2×34.5
大下 藤次郎	シドニー、 ニューサウス・ウェールズ	1898年	水彩、紙	23.3×34.4
大下 藤次郎	シドニー	1898年	水彩、紙	22.6×33.2
大下 藤次郎	メルボルン港	1898年	水彩、紙	23.0×33.5
大下 藤次郎	モートン岬、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.2×34.5
大下 藤次郎	サンドゲート、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ロイヤルパーク、 メルボルン	1898年	水彩、紙	20.7×31.4
大下 藤次郎	ブリスバートン河	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ブリスバートン河	1898年	水彩、紙	22.5×34.5
大下 藤次郎	金剛甲板にて	1898年	水彩、紙	40.2×26.9
大下 藤次郎	シドニー湾	1898年	水彩、紙	22.4×34.4
大下 藤次郎	赤道直下にて	1898年	水彩、紙	21.9×34.4
大下 藤次郎	アトリエの画家	1898年	水彩、紙	33.4×22.3
大下 藤次郎	信州の夏	1899年	水彩、紙	50.0×71.5
大下 藤次郎	つつじ	1899年	水彩、紙	32.5×47.4
大下 藤次郎	峠の木	1899年	水彩、紙	30.8×20.6
大下 藤次郎	雲の観察・明治32年 9月13日・正午・南	1899年	水彩、紙	15.8×26.0
大下 藤次郎	雲の観察・9月下旬・ 西方午後5時	1899年	水彩、紙	17.3×25.7
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 11月21日朝 東)	1900年	水彩、紙	18.0×27.4
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 12月5日 西南方)	1900年	水彩、紙	18.2×27.2
大下 藤次郎	城跡	1903年	水彩、紙	27.7×38.8
大下 藤次郎	仁王門(山門)	1903~1911年頃	水彩、紙	22.1×33.6
大下 藤次郎	ポピー	1903~1911年頃	水彩、紙	31.2×45.8
大下 藤次郎	野の花	1903~1911年頃	水彩、紙	22.0×33.3
大下 藤次郎	せせらぎ	1903~1911年頃	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	暮景	1903~1911年頃	水彩、紙	18.0×34.3
大下 藤次郎	河原	1903~1911年頃	水彩、紙	22.2×32.8
大下 藤次郎	桜	1903~1911年頃	水彩、紙	19.0×29.5
大下 藤次郎	夕日	1903~1911年頃	水彩、紙	13.1×19.3
大下 藤次郎	湖上の雲	1903~1911年頃	水彩、紙	22.8×34.2
大下 藤次郎	入江	1903~1911年頃	水彩、紙	23.0×34.0
大下 藤次郎	山の眺め	1903~1911年頃	水彩、紙	33.6×23.1
大下 藤次郎	浜辺の松	1903~1911年頃	水彩、紙	36.4×25.2
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.4×22.4
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.9×22.2
大下 藤次郎	河原	1904年	水彩、紙	52.0×74.5
大下 藤次郎	寄居	1904年	水彩、紙	22.4×34.1
大下 藤次郎	秋の雲	1904年	水彩、紙	32.9×49.7
大下 藤次郎	林間	1904年	水彩、紙	22.3×33.8
大下 藤次郎	木立	1904年	水彩、紙	34.0×22.4
大下 藤次郎	村の寺	1904年	水彩、紙	29.8×19.9
大下 藤次郎	天ヶ瀬	1904年	水彩、紙	17.6×26.5
大下 藤次郎	早春	1904年	水彩、紙	22.9×33.7
大下 藤次郎	風景	1904年	水彩、紙	22.0×34.0
大下 藤次郎	秋谷の漁村	1905年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	浪	1905年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1906年	水彩、紙	22.9×34.1
大下 藤次郎	風景	1906年	水彩、紙	10.3×20.8
大下 藤次郎	船のある風景	1906年	水彩、紙	10.4×20.8
大下 藤次郎	水辺風景5	1906年	水彩、紙	22.8×33.9
大下 藤次郎	多摩川	1906年頃	水彩、紙	22.6×32.7
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1907年	水彩、紙	34.2×51.9
大下 藤次郎	多摩川畔	1907年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	波	1907年	水彩、紙	26.1×46.4
大下 藤次郎	甲州駒ヶ岳	1907年	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	猪苗代	1907年	水彩、紙	66.7×48.2
大下 藤次郎	穂高山の残雪	1907年	水彩、紙	22.2×33.2

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	檜原湖の秋	1907年	水彩、紙	61.2×97.2
大下 藤次郎	猪苗代	1907年頃	水彩、紙	23.5×33.9
大下 藤次郎	飯坂	1907年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	湖水を望む	1907年頃	水彩、紙	22.9×34.8
大下 藤次郎	徳小舎のほとり	1907年頃	水彩、紙	21.9×33.2
大下 藤次郎	興津	1907年頃	水彩、紙	22.5×33.2
大下 藤次郎	浮き雲	1907～1911年頃	水彩、紙	31.3×45.6
大下 藤次郎	生け花	1907～1911年頃	水彩、紙	33.7×22.8
大下 藤次郎	秋海棠	1907～1911年頃	水彩、紙	34.8×22.4
大下 藤次郎	森	1907～1911年頃	水彩、紙	25.7×36.5
大下 藤次郎	山あいの道	1907～1911年頃	水彩、紙	25.6×36.5
大下 藤次郎	高原	1907～1911年頃	水彩、紙	27.6×39.8
大下 藤次郎	秋の夕	1907～1911年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	山上の眺め	1908年	水彩、紙	22.3×32.6
大下 藤次郎	残雪	1908年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	水芭蕉	1908年	水彩、紙	33.2×22.5
大下 藤次郎	松	1908年	水彩、紙	31.2×46.2
大下 藤次郎	波の音	1908年	水彩、紙	22.0×33.1
大下 藤次郎	富士を望む	1909年	水彩、紙	30.5×45.4
大下 藤次郎	静物 林檎	1909年	水彩、紙	33.6×50.3
大下 藤次郎	庭の一隅(コスモス)	1909年	水彩、紙	26.4×37.0
大下 藤次郎	西山峠	1909年	水彩、紙	32.9×22.2
大下 藤次郎	浜辺の家	1910年	水彩、紙	25.7×36.6
大下 藤次郎	小豆島	1910年	水彩、紙	25.4×36.5
大下 藤次郎	初夏	1910年頃	水彩、紙	25.9×36.6
大下 藤次郎	宍道湖の黄昏	1911年	水彩、紙	25.6×36.8
大下 藤次郎	美寿賀城跡	1911年	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	秩父琴平山	不詳	水彩、紙	17.5×11.4
大下 藤次郎	宿場	不詳	水彩、紙	21.9×33.1
大下 藤次郎	船のある風景	不詳	水彩、紙	22.6×33.0
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	22.2×32.9
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	27.9×35.5
大下 藤次郎	帆船	不詳	水彩、紙	34.3×22.9
大下 藤次郎	入江	不詳	水彩、紙	11.0×17.9
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	13.4×18.5
大下 藤次郎	舟のある風景	不詳	水彩、紙	13.8×20.2
大下 藤次郎	池	不詳	水彩、紙	15.0×23.2
大下 藤次郎	川	不詳	水彩、紙	22.8×34.4
大下 藤次郎	紫陽花	不詳	水彩、紙	32.2×22.2
大下 藤次郎	海	不詳	水彩、紙	23.0×33.7
大下 藤次郎	樹林	不詳	水彩、紙	20.7×31.1
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	14.2×20.4
大下 藤次郎	木立	不詳	水彩、紙	22.0×33.0
大下 藤次郎	朝	不詳	水彩、紙	23.0×33.9
大下 藤次郎	緑陰	不詳	水彩、紙	25.4×36.9
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	16.2×24.4
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	15.3×38.4
大下 藤次郎	風景習作10	不詳	水彩、紙	15.4×23.4
大下 藤次郎	風景習作11	不詳	水彩、紙	14.8×22.1
大下 藤次郎	菊花	不詳	水彩、紙	34.0×23.0
大下 藤次郎	水辺風景1	不詳	水彩、紙	22.4×32.8
大下 藤次郎	水辺風景2	不詳	水彩、紙	22.0×33.2
大下 藤次郎	水辺風景3	不詳	水彩、紙	22.3×33.0
大下 藤次郎	雪の山1	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	水辺風景4	不詳	水彩、紙	21.9×32.2
大下 藤次郎	庭園	不詳	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	水辺風景6	不詳	水彩、紙	33.2×22.1
大下 藤次郎	坂道の家並み	不詳	水彩、紙	37.0×25.4
大下 藤次郎	釣鐘	不詳	水彩、紙	26.2×17.7
大下 藤次郎	崖	不詳	水彩、紙	33.0×22.3
大下 藤次郎	水辺の小屋	不詳	水彩、紙	33.7×23.4
大下 藤次郎	雪の山2	不詳	水彩、紙	22.2×33.0
大下 藤次郎	水辺の山	不詳	水彩、紙	30.7×46.2
大下 藤次郎	雪の山3	不詳	水彩、紙	25.8×36.5

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	水辺の木立	不詳	水彩、紙	30.6×46.4
大下 藤次郎	雪の山4	不詳	水彩、紙	31.4×46.2
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	樹木	不詳	水彩、紙	32.7×22.6
大下 藤次郎	樹木習作	不詳	水彩、紙	33.5×22.1
大下 藤次郎	船着き場	不詳	水彩、紙	23.6×15.8
大下 藤次郎	寺の境内	不詳	水彩、紙	14.0×17.6
大下 藤次郎	秋の川辺	不詳	水彩、紙	15.2×23.4
大下 藤次郎	海洋	不詳	水彩、紙	29.8×50.4
大下 藤次郎	溪流	不詳	水彩、紙	22.4×32.9
大下 藤次郎	金色夜叉絵葉書下絵 5点	不詳	水彩、紙	22.3×33.2
大橋 正堯	農家	1896年	水彩、紙	9.1×14.4
加賀羅 聡	三浦浩著『津和野物語』挿絵	1986年	水彩、紙	21.8×17.4
草間 彌生	(18C)	1958年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.7
草間 彌生	(18D)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	58.4×43.3
草間 彌生	(18J)	1954年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	(18L)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.6
草間 彌生	(18M)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.8×53.8
草間 彌生	(18Q)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	FLOWER Q.S.A	1954年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×33.4
草間 彌生	HORIZONTAL-B	1953年	グアッシュ・パステル、紙	28.0×28.0
草間 彌生	No.235.Q.2	1953年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×30.7
草間 彌生	The Heat	1952年	グアッシュ・パステル、紙	29.8×24.8
草間 彌生	帽子	1975年	フォトコラージュ・水彩・パステル、紙	39.5×54.5
後藤 工志	風景	1912～1929年頃	水彩、紙	15.7×21.7
三宅 克己	農村風景	1896年	水彩、紙	28.5×48.5
三宅 克己	伊豆風景	1926～1945年	水彩、紙	49.0×65.8
マリア・リカルツ	無題(青いドレスに青い帽子、赤い星印の上に立つ女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6
マリア・リカルツ	無題(扇を持つピンクのドレスを着た女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6

素描

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	馬	1892年	鉛筆、紙	17.6×14.0
大下 藤次郎	高田千歳町	1892年	鉛筆、紙	28.5×38.3
大下 藤次郎	十二社裏	1893年	鉛筆、紙	24.8×18.7
大下 藤次郎	越前堀	1893年	鉛筆、紙	19.4×25.4
大下 藤次郎	四ッ谷 谷町	1893年	鉛筆、紙	29.2×37.8
大下 藤次郎	小石川白山御殿側	1893年	鉛筆、紙	29.4×38.1
大下 藤次郎	護国寺内	1893年	鉛筆・水彩、紙	25.0×18.9
大下 藤次郎	椿	1894年	鉛筆、紙	19.5×16.9
大下 藤次郎	京都途上所見	1895年	鉛筆、紙	11.2×17.6
大下 藤次郎	国内風景スケッチ 98年10月20日	1895年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	京の□居	1896年	鉛筆・水彩、紙	11.2×16.6
大下 藤次郎	民家の庭先	1897年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	軍艦金剛にて①(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.3×16.6、9.6×16.8、9.6×17.0
大下 藤次郎	軍艦金剛にて②(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.2×17.3、9.3×15.2、9.4×17.1
大下 藤次郎	軍艦金剛にて③(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.4×16.8、9.4×17.2、9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(甲板)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.6
大下 藤次郎	金剛スケッチ(雨浴)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.9
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古安達ヶ原)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×17.0
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古太閤記)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(掃除)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×14.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(お茶番)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	人物スケッチ(シドニー)	1898年	鉛筆・水彩、紙	
大下 藤次郎	碓永川	1898年	鉛筆・水彩、紙	11.2×17.8
大下 藤次郎	フィジー人物スケッチ	1898年	鉛筆、紙	

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	渋谷	不詳	鉛筆、紙	19.7×23.8
大下 藤次郎	南品川	不詳	鉛筆、紙	29.3×38.0
大下 藤次郎	麻布二之橋	不詳	鉛筆、紙	28.7×38.4
大下 藤次郎	牛込	不詳	鉛筆、紙	29.0×38.1
大下 藤次郎	富士山スケッチ	不詳	鉛筆、紙	24.0×35.8
大下 藤次郎	二十八番観音	不詳	鉛筆・水彩、紙	17.8×11.2
大下 藤次郎	風景スケッチ 鳥居	不詳	鉛筆・水彩、紙	19.8×15.6
大下 藤次郎	室内	不詳	鉛筆・水彩、紙	8.6×13.7
大下 藤次郎	kitami	不詳	鉛筆、紙	14.0×8.6
大下 藤次郎	鎌倉	不詳	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	二日市	不詳	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	人物スケッチ 26点	1892～1897年頃	鉛筆・水彩、紙	
岸田 劉生	内藤夫人の像	1919年	木炭・パステル、紙	37.8×30.5
須田 国太郎	大濱	1950年頃	鉛筆、紙	28.5×42.0
須田 国太郎	源平布引瀧の図	不詳	鉛筆、紙	25.5×34.5
須田 国太郎	南座 羽左の実盛	不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
須田 国太郎	将棋の図1	不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
須田 国太郎	将棋の図2	不詳	鉛筆、紙	24.5×35.5
宮 芳平	樹木	1896年	コンテ、紙	18.5×28.4
宮 芳平	村里	1933年	コンテ、紙	18.5×28.2
宮 芳平	はぜのある風景	1928年	鉛筆、紙	25.2×19.0
宮 芳平	冬の木	1932年	鉛筆、紙	25.2×18.4

写真

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
森村 泰昌	「美に至る病 女優になった私」(48点組)	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	各120.0×95.0
アーヴィン・ブリューメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1984年	ダイ・トランスファー・プリント	各50.8×40.1
ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	40.0×50.0
ウィリアム・クライン	煙+ヴェール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	60.0×50.0
ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち、パリ	1965年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.0×40.0
エドワード・スタイケン	ナティカ・ナスト	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
エドワード・スタイケン	F. A. ワイマン夫人	1931年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.0×20.0
エドワード・スタイケン	無題	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
サラ・ムーン	『ヴォーグ』より	1973年	ダイ・トランスファー・プリント	19.7×30.0
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ロレッタ・ヤング	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.3×20.3
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	イリナ・バラノヴァとニニ・テイロード	1940年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	26.1×32.8
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ドラマティック・イブニング・ケープ	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	22.0×28.4
セシル・ビートン	エドワード朝様式の室内にいるメアリー・テイラー、『ヴォーグ』より	1935年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.2
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.28)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.10)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.7
ダイアン・アーバス	サウス・カロライナ	1968年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	39.5×38.2
ダイアン・アーバス	舞踏場ダンス ジュニア州チャンピオン、 ニューヨーク州ヨンカース	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.2×37.2
ダイアン・アーバス	楽屋の風刺劇喜劇女優 アトランティック シティ、ニュージャージー	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.6×37.5
ダイアン・アーバス	無題14	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.3×37.7
ダイアン・アーバス	無題18	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×37.4
ダイアン・アーバス	バラのドレスを着た仮面舞踏会の婦人	1967年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.9×37.2
ダイアン・アーバス	五番街のバラードの男、ニューヨーク	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×36.8
ダイアン・アーバス	恐怖の家、コニー・アイランド、ニューヨーク	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.4×37.3
パロン・ド・メイヤー	ミスタンゲット	1920年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.4
パロン・ド・メイヤー	コンテ・ナスト夫人	1925年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.7
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.6×20.5
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	20.4×30.6
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.5×20.4
ベルナルド・フォコン	到着 〈夏休み〉より	1978年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	悪魔のミントシロップ 〈夏休み〉より	1980年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	島の祭り 〈時の不確かな進化〉より	1983年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	アントワヌ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
ベルナル・フォコン	小さな木 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナル・フォコン	ミュケナイの門 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナル・フォコン	ディミトリ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ホルスト P. ホルスト	白い袖、バリ	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会 『ハーバース・バザー』1938年9月号	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
マーティン・ムンカッチ	ルシール・プロコウ 『ハーバース・バザー』1933年12月号	1933年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	35.6×27.9
マーティン・ムンカッチ	『ハーバース・バザー』1936年6月号	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
メルヴィン・ソコルスキー	デルポーに捧ぐ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
メルヴィン・ソコルスキー	木立のなかで	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	58.5×47.3
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.0×17.9
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	16.2×12.5
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	18.4×12.6
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.1×18.0
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	19.2×12.9

工芸

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
阿部 裕幸	根付 明暗	2005年	猪牙	長8.9 幅2.0
巖水	石見根付 扇面草図	江戸時代	象牙	長9.9
穴戸 濤雲	根付 柿本人麿	2005年	猪牙	長6.0 幅2.1
高木 喜峰	根付 迷い道	2005年	猪牙	長6.0 幅1.8
田中 俊暁	石見根付 おろち	2007年	猪牙	長1.0 幅4.5
富永	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	8.5×2.4×1.2
富春	石見根付 蓮葉に蓑亀	1792年	鯨の歯	4.1×2.5
富春	石見根付 亀	江戸時代後期	木刻	長6.1
富春	石見根付 鮑に蟹	1795年	象牙	高1.5 幅4.8 奥行3.0
永原 雲永	色絵桐紋秋草図蓋茶碗	江戸時代末期	陶器	高7.9 口径11.0 高台径4.2
永原 英造	色絵金銀彩唐草文鉢	19世紀後半	陶器	高10.0 口径19.5 底径10.3
中村 松間齋	猛禽図高蒔絵印籠	江戸時代末期	高蒔絵	高7.2 幅6.7 奥行2.8
前田 中	根付 番	2005年	猪牙	長5.1 幅1.8
龍水	石見根付 牛	江戸時代	木	長5.6
和地 一風	根付 月下の祈り	2005年	猪牙・ベッ甲・海松	長9.9 幅1.8
不詳	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	長8.3
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1912年デザイン	陶製、釉薬	高15.0
ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙	長4.6
ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ	1916年	銀、象牙	3.4×3.4
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの箱	1920～21年	鍛金・銀	高5.0 径4.2

彫刻

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
草間 彌生	ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	102.0×52.0×20.0
草間 彌生	「銀色の希死」より シルバージュース	1976年	靴、詰め物をした縫製布、彩色	23.0×8.6×19.0
草間 彌生	ジェネシス 創世記	1993～94年	詰め物をした縫製布、木、彩色	299.7×480.1×30.0
草間 彌生	南瓜	1998年	F.R.P(強化プラスチック)、 塩ビ系塗装	200.0×250.0×250.0
米原 雲海	仙丹	1910年	木	高34.0

服飾

作家名	作品名	制作年	材質
森 英恵	イブニング・コート、ショートドレス	1964年	純金帯地(西陣織)のコート。ドレスは、帯地と絹サテン。
森 英恵	ジャンプスーツ、カフタン	1966年	菊を同柄でプリントした綾絹と絹シフォンのジャンプ・スーツとカフタン。絹サテンのベルト。
森 英恵	イブニング・コート、ドレス	1968年	帯地風に仕立てた西陣織のイブニング・コート。赤と白の絹サテンのロングドレス。赤い絹サテンのベルト付。

作家名	作品名	制作年	材質
森 英恵	ディ・ドレス	1970年代前半	シルク・シフォンとシルク・サテンに幾何学的な図案をプリント。ワンピース・ドレス。
森 英恵	カフタン、ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。同柄の絹シフォンのストール。
森 英恵	イブニング・ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。ネックにビーズ刺繍。
森 英恵	イブニング・ドレス「花の白いドレス」	1981年	白い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ。
森 英恵	イブニング・ドレス	1981年	黒い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ。
森 英恵	イブニング・ドレス「赤い蝶のドレス」	1990年	赤い絹クレープのワンピース・ドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス「蒔絵を思わせる赤いサテンのイブニング・ドレス」	1994年秋冬	刺繍とプリントで秋草をあしらった赤い絹サテンのロングドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」	1996年	ピンク色の絹のワンピース・ドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス「北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス」	1996年	墨絵風の柄をプリントした絹シフォン、絹サテンのワンピース・ドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス「ベージュにりんごの花のドレス」	1998年春夏	ベージュ地にりんごの花をプリントした絹シフォンのロングドレス。マーメイドライン、ノースリーブ。スパングルによる刺繍。
森 英恵	イブニング・ドレス「コーラル色の花を縫いとったレースのドレス」	1998年秋冬	チュール地に珊瑚色の花の刺繍を施した、ワンショルダーのロングドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス「プリーツをあしらったウールのスーツ」	2001年春夏	白いウールのジャケット、背中にプリーツ飾り。飾りピン付き。白いウールのアコーディオンプリーツのスカート。
森 英恵	「浮世絵ジャケットとリボンで編んだスカート」	2001年秋冬	銀糸を織り込んだ地に浮世絵柄を刺繍したジャケット、裾にフリル。緑、ピンク、茶のリボンを格子に編んだフレアスカート。
森 英恵	「黒い羽を縫いとったロイヤルブルーのスーツ」	2002年秋冬	花柄の地模様のある青色の綾絹でできたジャケットと膝丈のスカート。襟元、袖さき、背に黒い羽の縫い取り刺繍。
森 英恵	カクテル・ドレス「レースのドレスに軽いボレロ」	2004年春夏	黒い絹レースでできたノースリーブのショートドレス。胸元に小花の刺繍、腰にギャザー飾り。チュール地に格子状の黒いテープで螺旋状に刺繍したボレロ。
森 英恵	カクテル・ドレス「銀色のアンサンブル」	2004年春夏	裾と胸元に銀色のバラをあしらった黒い絹チュール地のショートドレス。同柄のバラモチーフを全面に刺繍した黒い絹チュールのボレロ。
森 英恵	イブニング・ドレス「墨絵にオレンジ色の花を添えたシフォンのドレス」	2004年春夏	墨絵とオレンジ色のバラをプリントした絹シフォンのロングドレス。腰にモザイク状のベルト飾り。
森 英恵	イブニング・ドレス「蝶とタイガーと波をそめた白い絹のドレス」	2004年春夏	蝶と虎と波をプリントした絹シフォンのロングドレス。裾と袖口に同布で刺繍、蝶と虎にはスパンコール刺繍、背にボタン飾り。
アリックス・グレ	イブニング・ドレス	1958年	黒い絹ジャージーのワンピース・ドレス。細かくたたまれたプリーツ。
アンドレ・クレージュ	ブーツ	1960年代後半	白い革、VELCROのファスナー付き。
アンドレ・クレージュ	ジャンプスーツ	1970年	青と白のウール。マンダリン・カラー。茶革のトリミング、折り返しのあるカフス。
アンドレ・クレージュ	イブニング・ドレス	1970年頃	白いウール地のワンピース・ドレス。裏地は白い絹。
アンドレ・クレージュ	ディ・アンサンブル	1965～1967年	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のツーピース・ドレス。裏地はクリーム色の絹。
アンドレ・クレージュ	スーツ、ブーツ、小物(カメラ)	1960年代後半～1970年	フェイクのエナメル(ビニール製)。丈の短いジャケット、ボティ中央とカフスに白いボタン、白いエナメルのロゴ・マーク、ヒップボーンのミニスカート。銀色の革製のブーツ。アクセサリーとして日本製カメラ(ミノルタ製)。
イヴ・サンローラン	カクテル・ドレス、ケープ	1967～1968年	カクテル・ドレスとケープのアンサンブル。ボティは黄色の絹オーガンザ、ピンク、黄色のバイエット飾り等で刺繍。スカート、ケープには黄色のオストリッチ・フェザー。
イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス「夜の音楽」	1956年	ダーク・グレーのシルク・グログラン地。Vネックライン、七分丈のラグラン・スリーブ、トラペーズラインのスカート、4重に重ねたベチコートには、ホース・ヘアー・バンド。
イヴ・サンローラン	イブニング・スーツ	1967年頃	黒のサテンによりトリミングされた黒いウールのイブニング・スーツ。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ショール付イブニング・ドレス「サロン」	1992年	透けた黒のストレッチ素材。共布のショール付き。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	イブニング・ドレス「18世紀スタイル」	1992年	金色の革。ボーンの入ったボティス。皮のスカート。スカーフは白の絹ゴーズ、太陽のモチーフを金色でプリント。プラット・フォーム・シューズは、金色の皮、ヒールには赤のエナメル。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ジャケット、パンツ、シャツ「リパティコレクション」	1994年	グレー、白、赤のタータンのウール。ロング丈のジャケット、ベスト、折り返しのついたパンツ。チェックの綿のシャツ。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ドレス、靴	1990年	黒色絹ベルベットのストレッチ素材のコルセット、パッドの入ったバスル付きガーター風のボトム、17cmヒールのプラット・フォーム・シューズ。
エルザ・スキヤパレリ	イブニング・ドレス	1938年	ショッキングピンク地にプリントを施した絹シフォンのワンピース・ドレス。ショッキングピンクのアンダードレス。
エルザ・スキヤパレリ	水着	1930年代後半	綿とレーヨンの混紡。幾何学模様。ホルターネックブラ。
エルザ・スキヤパレリ	イブニング・ドレス	1939年	クリーム色のサテン・シルク。衿はフェイク(衿の形をしたアップリケ・ワーク)。肩にプラスチック・ジップ。
エルメス	水着	1940～1950年代	幾何学的な魚の模様のスパンデックス。ボーン入り。
ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1927年頃	黒の絹シフォンのワンピース・ドレス。バイアスカット。黒の絹のスリッパ。

作家名	作品名	制作年	材質
ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1920年代後半	黒い絹クレープ・デ・シンにシャンティイレース地を重ねたワンピース・ドレス。サテン地のリボン。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン	1954年	アイボリーの絹ファイユのストラップレス・ドレス。植物のモチーフをビーズ刺繍。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン、ストール、靴	1954年	淡い青地に濃い水玉模様のプリント、絹シフォンのストラップレス・ドレス。襟元にボー飾り。背面にバッシル風形状の飾り。共布のストールと靴。
クリスチャン・ディオール	ディ・ドレス	1949年	黒のウール。厚みのある開襟カラー。ジャケットに飾りポケット。巻きスカート。
クリスチャン・ディオール	ディナー・ドレス「カラカス」	1953年	バラのプリント地の絹シフォンのツーピース・ドレス。裏地はピンクの絹オガンザ。内側にはボーンの入ったチュール地とシフォンのコルセット。巻きスカート、シース型のアンダースカート付。
クリスチャン・ディオール	コート	1955年頃	グレーの絹ファイユ地。大きな襟と七分丈のラグラン・スリーヴ。後ろは大きくVの字に開きボウ飾り有り。両脇にポケット。背中中央にボックスプリーツ。裏地はグレーの絹。
クリスチャン・ディオール	カクテル・ドレス	1956年	茶の絹タフタ。ウエストにベルト。
クリスチャン・ディオール /イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス	1958年	銀の絹サテン、裏地は絹ゴーズ。七分丈のラグラン・スリーヴ。幅広の帯風のベルト。ボティスの内側にはチュール地のボーン入りコルセットとガーター。スカートにはチュール地の3段のペチコート。
クリスチャン・ディオール /マルク・ボアン	ディナー・ドレス	1961年	ピーコック・ブルーの絹。裏地は青の絹オーガンザ。七分丈スリーヴ。左右が不均等なボレロ風ジャケット。
クリスタバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1950～1951年	濃い青の絹タフタのカクテル・ドレスとジャケット。ドレスはホルター・ネック、前面にボタン、バルーンスカート。ジャケットは肩幅の狭いシルエット。ベルト付き。ビーズ付き濃紺の靴。
クリスタバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1961年	クリーム色のシフォン。トラペーズラインのドレス。
クリスタバル・バレンシアガ	ケープ	1946年	黒の絹ファイユ地にホース・ヘアー、銀のスパンゲル、人造宝石の刺繍。
クリスタバル・バレンシアガ	ドレス	1949年	黒のウールに緑の絹タフタのワンピース・ドレス。
クリスタバル・バレンシアガ	コート・ドレス	1958年	淡いグレーのモワレのコート・ドレス。マンダリンカラー。袖には金色に着色した木製釦。アンダースカート付。
クリスタバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒のシャンティイレースの「ベビードールドレス」。黒の絹のスリッパ・ドレス。
クリスタバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒いバラのモチーフのある白いレース地のワンピース・ドレス「ベビードール・ドレス」。絹シフォンのアンダードレス付。
クレア・マッカーディル	水着	1945年頃	黒色と白色のストライプのジャージー。
ザンドラ・ローズ	フード付きカフタン	1969年	黒、黄、緑で円状の模様がスクリーンプリントされたフード付きカフタン。
ジェームス・ガラノス	パンツ・スーツ	1970年	アイボリーのケミカル・レース。ジャケット、ベスト、ファスナー付きフレア・ボトムパンツ。
シャルル＝フレデリック・ウォルト	ボールガウン	1897年	アイボリーの絹サテン、ジゴ袖のツーピース・ドレス。金糸で刺繍の施されたベージュのラメ、ボティスとスカートに稲妻と雲のデザイン。雲のデザインの薄い青色のトレーン。
ジャン＝フィリップ・ウォルト	ウェディング・ドレス	1916年	さまざまな種類のブリュッセル・レースを組み合わせたドレス。
ジャンヌ・ランバン	イブニング・ドレス	1928年	黒の絹チュールのワンピース・ドレス。ボティスとスカート上部に金銀のスパンゲルなどによる刺繍。
ジャンヌ・ランバン	ドレス	1936年	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。袖に白いフェルト地のアププリケ・ワーク。パイアスカット。
ジルベルト・エイドリアン	ディ・ドレス	1940年代	赤茶と緑の玉虫色のウール。肩パッド付きのジャケット。スリットのあるタイト・スカート。
スザンヌ・タルボット	イブニング・コート	1925年頃	黒い絹の筒型コート。椰子の葉と花々を刺繍したテキスタイル。黒の毛皮のトリミング。裏地は黒のベルベット。
ステーンブラザーズ	レセプション・ドレス	1900～1905年頃	黒いネット・レース、アイボリーの絹サテン、絹シフォン、絹タフタを重ねている。S字ライン。
ダゴベルト・ベッヒエ	カフタン	1919年頃	絹に色を濃淡にぼかした縞模様プリント「レインボー」。
ダゴベルト・ベッヒエ	ネック・バンド	1919年頃	ビーズ。
ダゴベルト・ベッヒエ	テーブルセンター	1919～1920年	絹。チュールにアププリケ。
チャールズ・ジェームス	ディナー・ドレス「スパイラルドレス」	1951年	ルビー・レッドの絹ファイユ。スカートにくるみ釦、ファスナー。
ニナ・リッチ	イブニング・ドレス	1948年	紺と白の絹。開襟カラー。両肩下にポケットのある短いマント風ジャケット。前面にくるみ釦。クリノリン型のスカート。チュール・ネットの下着付き。
ハーバート・レヴィン	靴「カブキ・シューズ」	1964年	青色ベルベット。木製ソールは金色にペイント。
バーバラ・フラニッキー /ピバ	パンツ・スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテーラード・ジャケット、ヒップ・ボーンフレアー・パンツ。
バーバラ・フラニッキー /ピバ	パンツ・スーツ	1970年頃	ト音記号をプリントしたウールと綿のニットでできた、テーラードジャケット、ヒップボーンフレアー・パンツ。
パコ・ラバンヌ	イブニング・ドレス	1966年	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具でつなぎ合わせたミニ・ドレス。
ピエール・バルマン	イブニング・ドレス	1955年頃	黒の絹ベルベットと絹ファイユ地。後ろ身頃にファスナー、その上にくるみ釦飾り付き。チュール地とホースヘアーを6段に重ねたオリジナルのペチコート付き。
ピバ	スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテーラード・ジャケット、ヒップボーンフレアー・パンツ。
ベス・レヴィン	サンダル「ネイキッド・シューズ」	1960年代	革製サンダル。プラスチック製のシダのモチーフのデコレーション。

作家名	作品名	制作年	材質
ポール・ポワレ	イブニング・ドレス	1913年	黄色の絹ゴーズとブリーツのあるグリーンのシフォン地。銀ブレードの縁飾り、バンド部分にヘイズリー模様を銀糸やスパングルで刺繍。裏地はライム・グリーン絹シフォン。
ポール・ポワレ	ドレス	1920年代後半	シュミーズ風赤紫色の絹クレープ・デ・シンのワンピース・ドレスに、藤色と紫色のブリーツのあるオーバードレス。前身頃とウエストに、オリエンタル風モチーフを刺繍。
ポール・ポワレ	「ガーデン・パーティ・ドレス」	1911年	アイボリー色のオーガンジー。ボディスとスカート裾に花弁の形をアップリケ、中央のバラはステンシルによるペイント。裏地の裾に黒色の絹ベルベット。
ポール・ポワレ	ドライブ用コート	1910年頃	アイボリー色のシャンタン絹地。Aライン、ラグランスリーブ、丸襟、骨のボタン。
ポール・ポワレ	ディ・ドレス	1925年	絹グログラン地に海辺のシーンをプリント。Vネックの襟元、ロウ・ウエスト。
ポール・ポワレ	ディ・ドレス「ブリトンヌ」	1921年	紺色のウール、青緑色のベルベット地、中国風の刺繍が施された長い袖、ボディスの中央にフックファスナー、ウエスト前部にゴム。
ポール・ポワレ	カフタン・コート「イスファハン」	1908年	緑色の絹サテン、裏地には茶色の絹サテン、中東風の模様をゴールド・ギルド糸刺繍。袖の縁取りに使われた紐にはタッセル飾り付き。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「バイエル」	1928年頃	絹にプリント。ウエストに二つのポケット。黒の絹の縁。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「エロス」	1926年頃	絹にプリント。襟元にヒダ飾りのついたスクエアのネックライン。伸縮性のある袖口。2つのポケット。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「ゼレニカ」	1929年	絹にプリント。濃い青の絹で縁取られたウエストまで届くV字の襟。袖も青の絹で縁取り。
マドレーヌ・ヴィオネ	ディ・ドレス	1920年頃	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。ボートネック、ラグラン・スリーブ、ブリーツスカート。
マドレーヌ・ヴィオネ	ディ・ドレス	1934年頃	赤緋色のクレープ。ワンピース・ドレス。バイアス・カット。
マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス、スリッパ、ストール	1938年	黒いチュール地に金色のぶどうのモチーフのワンピース・ドレス。サーキュラー・スカート。ホルター・ネック。黒い絹サテンのアンダー・ドレス付。黒いチュールのストール。
マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス	1938年	ドレスとアンダー・ドレスの2ピース。ピンクのシルク・シフォン地のオーバー・ドレス、シフォンと絹地のアンダー・ドレス。
マリア・モナチ・ガレンガ	ティーガウン	1910年代	赤茶色の絹ベルベット地、直線断ちのドレス、ロング・スリーブ。肩にヴェネツィアンビーズ。ドレスに鳥と植物模様、袖に幾何学模様が金でステンシルワーク。
マリア・リカルツ	バッグ	1919年	ビーズ・ワーク。
マリアノ・フォルチュニ	コート	1912年以降	深緑と錆赤のベルベットにピンクと金色でプリント。金でルネサンス風文様がプリントされた錆赤のベルベットでトリミング。錆赤のロングタイ。絹のライニング。
マリアノ・フォルチュニ	チュニック「タバード」	1910年代	透けた黒の絹ゴーズ。金色のステンシル・ワーク。脇、裾にトンボ玉付き。
マリアノ・フォルチュニ	ブリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	白の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいブリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。ベージュと赤銅色の飾りヒモ付き。
マリアノ・フォルチュニ	ブリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	赤の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいブリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。
メンバーシェ	イブニング・ドレス	1940年	黒の絹クレープ。背中に深いVカット。ラグラン・スリーブ。
リバティ商会	コート		青色の絹ベルベット。ライニングは絹のシルバー・ラメ。フロントにくるみボタン、襟に絹製の紐、裾に長いタッセル飾り。
リバティ商会	ティーガウン	1908年	ブルーグレーのクレープ。茶がかったグレーの絹シフォンでトリミング。襟に中国風刺繍。
リバティ商会	バッグ	1910年代	異国風のモチーフのニードルワーク、緑色の絹地のライニング。
ルディ・ガーンライヒ	ミニ・ドレス、ビキニス、ブーツ	1967年	ピンクのウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。
ルディ・ガーンライヒ	ミニ・ドレス、ビキニス、ブーツ	1967年	ライム・グリーンウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。
ルディ・ガーンライヒ	パンツ・スーツ	1960年代後半	ライム・グリーンとブルーのジグザグパターンのウール。ボタン付きベルト。
ルディ・ガーンライヒ	水着「モノキニ」	1964年	ヘリングボーンパターンのウール、綿、ラバーの混紡。
レドファン	コート	1920年代	金糸を織り込んだ黒い絹。シダ植物と花の模様が交差するパターン。襟元と袖に毛皮。袖はカフタン風。裏地はベージュの絹ベルベット。
作者不詳	ペーパー・ドレス「スーパードレス」	1966年頃	「キャンベル・スーパ・カン」のプリントを施したセルロースと綿の不織布。
作者不詳	ビーチ・ウェア	1910～1920年代	白色の絹ボンジー。袖無しのボディス、パンツ。
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。
作者不詳	女性用乗馬服	1888年頃	ダーク・グリーンウールのジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
作者不詳	女性用乗馬服	1890年頃	グレーのツイード。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1910年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
作者不詳	女性用乗馬服	1920年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
作者不詳	女性用乗馬服	1930年代後半	青色のウール。ジャケット、ジョッパーズ・パンツ。

作家名	作品名	制作年	材質
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1900年頃	紺色のウール。ジャケット、ブルーマー、カラー。ルースなブラウス風のボディ、セーラー・カラー、カフス付の長い袖、隠れた釦ファスナー。
作者不詳	水浴着	1905～1910年頃	濃紺のウール。上着、ブルーマー、スカート。
作者不詳	水着	1920年頃	青色と赤色のストライプのウールニット。右肩に釦ファスナー。
作者不詳	プレイスーツ	1920年代初頭	綿にプリント。ジャケット、パンツ。
作者不詳	水着	1920年代	青、黒、白のストライプのウールのニット。
作者不詳	テニス・ウェア	1926年頃	白色綿。Vネック、ノースリーブ、肩2本ダーツ。
作者不詳	スキー・スーツ	1940年代	ウールとナイロンの混紡のジャンプスーツ。
作者不詳	ネックレス	1920年頃	ピンク、緑、銀色のストライプと小花模様のビーズ・ワーク。両端にタッスルの飾り。
作者不詳	イブニング用シューズ	1920年頃	花のモチーフを銀糸をつかいプロケード織り。
作者不詳	海水浴用シューズ	1920年頃	セージ・グリーンゴムの製。銀色にペイントされた羽根模様。
作者不詳	ブレスレット	1930年頃	銀。
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。

テキスタイル

作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ(cm)
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 46点	1912～1928年		
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1913年頃	ステンシル、絹ベルベット	290.0×307.0
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1920年頃	ステンシル、絹ベルベット	356.0×356.0
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 14点	1922～1930年代		
ダゴベルト・ベッヒェ	「ヴンダーバウム」	1911～16年	プリント、絹	90.0×70.0
フェリス・リックス＝ウエノ	「クレムリン」	1929年	プリント、絹	74.0×94.0

テキスタイル・デザイン

作家名	作品名	制作年	技法、素材
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 68点	1912～1928年	水彩、紙
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン 74点	1922～1930年代	水彩、紙

ファッション雑誌、書籍

書名	出版年	サイズ(cm)	備考
『20世紀現代産業装飾芸術百科事典』	1925年	各28.3×23.2	全12冊
『フェミナ』	1904～34年	各35.0×28.2	88冊、欠号あり
『レ・モード』	1901～13年	各35.5×27.0	1～156号合本
『アール・グー・ポータ』	1922～33年	各31.4×24.0	40冊、欠号あり
『婦人グラフ』	1924～28年	各32.8×24.4	25冊、欠号あり

寄 贈

	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
1	服飾	森 英恵	ジャンプスーツ	2004年秋冬	背面に役者絵を染めた、深い青色のシルクサテンでできたジャンプスーツ。腰に濃紺のブレードでベルト飾り。	
2	服飾	森 英恵	ジャケット、タイトスカート、ストール	2004年秋冬	秋の草花を染めた縮緬でできたテイラード・ジャケット、袖にスリット飾り。ストール付き。同素材のタイトスカート。	
3	服飾	森 英恵	カフタン、イブニング・ドレス	2004年秋冬	羽ばたく鶴がプリントされた金色シルクサテンのカフタン。同素材でできたベア・トップのロングドレス。	
4	服飾	森 英恵	ウェディングドレス	2004年春夏	チュールリボンのフリル飾りをスカート、胸元に配した白色シルクサテンのウェディング・ドレス。胸元に桜色のコサージュ飾り付き。	
5	服飾	森 英恵	イブニング・ドレス	2002年春夏	青を基調に、ピンクや白を差し色として、花や鳥の刺繍を全面に施したロングドレス。クルーネック、長袖のボディーコンシャスでシンプルなフォルム。裾にスリット。左肩にシルク・チュールでコサージュ飾り。	
6	服飾	森 英恵	イブニング・ドレス	1999年春夏	明るいグレーのシルクシフォンに、白、黒、チャコールグレーの変わり水玉を刺繍したロングドレス。	
7	服飾	森 英恵	コート、イブニング・ドレス	1997年秋冬	豹柄のフェイクファーをパッチワークした黒色ウールのロングコート。同柄をパッチワークしたベルトがついたウールニットのドレス。	
8	服飾	森 英恵	ジャケット、タイトスカート	1989年秋冬	黒色ウール地に黒色シルクサテンと黒色ウール地の網代編みをあしらったジャケット。黒色ウールのタイトスカート。	
9	服飾	森 英恵	ジャケット、ショートイブニング・ドレス	1968年秋冬	漢字柄を織り込んだ金色の西陣織りジャケット。金色の糸で手編みしたドレス。	
10	服飾	森 英恵	ジャケット、ディナー・ドレス	1965年春夏	西陣織りの帯地を用いたジャケット。シルクサテンのドレス。ドレスの背には大きなリボン飾り。	
11	水彩画	丸山 晚霞	百合	大正3年(1914)頃	水彩・紙	34.8×26.0
12	彫刻	藪内佐斗司	どこかものたりない不思議な人物たち	1982年	檜	向かって右 160.0×114.0×112.0 向かって左 132.0×173.0×243.0
13	彫刻	藪内佐斗司	ろーりんぐまん	1984年	檜	153.0×258.0×60.0

所蔵作品貸出実績

展覧会名、会場、会期	作家名、作品名
「竊木清方と江戸の風情」千葉市美術館 平成26年9月9日～10月19日	竊木清方《花見幕》
「日本の中のはまだの美術ー感動とともに生きた人々ー」 浜田市世界こども美術館 平成26年5月31日～7月13日	杉浦非水《ポスター「日向の早熟蔬菜と果実」》 杉浦非水《ポスター「第二次産業組合拡充三カ年計画」》
「美少女の美術史」 青森県立美術館 平成26年7月12日～9月7日 静岡県立美術館 平成26年9月20日～11月16日 島根県立石見美術館 平成26年12月13日～平成27年2月16日	《遊楽美人図》 《柳橋扇面流遊女図屏風》 池田焦園《小松引》 菊池華秋《雪晴》 榎本千花俊《口紅を描く》 橋本明治《莊園》 榎本千花俊《揚々戯》 北野以悦《春》 竹久夢二ほか『婦人グラフ』2巻(2号～5号)、3巻2号、4号、4巻(1号、4号～8号)
第20回 記念特別展 秘蔵の名品アートコレクション展「日本の美を極めるー近代絵画が彩る四季・花鳥・風情」 ホテルオークラ東京 アスコットホール 平成26年8月8日～8月31日	小早川清《宵》 菊池隆志《初夏遊園》 大下藤次郎《山上の眺め》 大下藤次郎《峠の木》
特別展「岡田三郎助ーエレガンス・オブ・ニッポンー」 佐賀県立美術館 平成26年9月19日～11月16日	岡田三郎助《黒き帯》
新安来市発足10周年記念「米原雲海彫刻展」 和鋼博物館 平成26年9月18日～10月20日	米原雲海《仙丹》
「ポートレイト・イン・ミュージアムー肖像画の魅力ー島根県立美術館コレクションを中心にー」 島根県立美術館 平成27年1月2日～3月9日	狩野松栄《益田元祥像》 ルトランジェ《題不詳》 ルトランジェ《題不詳》 アドルフ・ド・メイヤー《ミスタンゲット》 バロン・ド・メイヤー《コンデ・ナスト夫人》 エドワード・スタイケン《ナティカ・ナスト》 エドワード・スタイケン《F.A. ワイマン夫人》 ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ《ロレッタ・ヤング》 ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ《イリナ・バラノヴァとニニ・テイラード》 ダイアン・アーバス《舞踏場ダンス、ジュニア州チャンピオン、》 ダイアン・アーバス《バラのドレスを着た仮面舞踏会の婦人》 ダイアン・アーバス《五番街のパレードの男、ニューヨーク》 ダイアン・アーバス《楽屋の風刺劇喜劇女優、アトランティックシティー》 ダイアン・アーバス《無題14》 ダイアン・アーバス《無題18》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)《ハッピーバーンとしての私》》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)《ハッピーバーンとしての私2》》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)《ハッピーバーンとしての私3》》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)《ディートリッヒとしての私》》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)《ディートリッヒとしての私》》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)《ガルボとしての私》》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)《ビビアン・リーとしての私》》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)《ビビアン・リーとしての私》》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)《リズとしての私》》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)《リズとしての私》》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)《バグマンとしての私》》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)《バルドーとしての私》1》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)《バルドーとしての私》3》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)《ドヌーヴとしての私》》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)《ソフィア・ローレンとしての私》》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)《フェイ・ダナウェイとしての私》》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)《ジェーン・フォンダとしての私》》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)《ジョディ・フォスターとしての私》》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)《ライザ・ミネリとしての私》》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)《赤いマリリン》》

入館者数一覧・パスポート会員数一覧

1. 入場者数

	グラントワ入場者数	美術館			美術館合計	ホール			ホール合計
		企画展	コレクション展	その他		大ホール	小ホール	その他	
4月	21,903	0	878	0	878	3,739	1,126	2,220	7,085
5月	29,127	1,524	2,320	954	4,798	2,645	2,719	5,392	10,756
6月	39,649	4,692	4,143	0	8,835	8,842	2,439	3,365	14,646
7月	34,064	4,754	4,422	70	9,246	3,818	3,105	3,915	10,838
8月	41,810	4,816	4,240	120	9,176	5,459	2,511	5,261	13,231
9月	35,489	3,733	3,557	85	7,375	3,230	1,966	5,935	11,131
10月	36,418	6,190	6,021	610	12,821	5,704	1,619	9,234	16,557
11月	41,210	3,154	3,359	3,010	9,523	8,183	2,793	9,842	20,818
12月	26,307	1,494	1,712	50	3,256	5,035	2,615	2,608	10,258
1月	24,681	3,137	2,816	62	6,015	2,880	2,186	2,084	7,150
2月	21,649	3,179	3,239	262	6,680	3,236	2,240	2,275	7,751
3月	27,023	0	1,110	431	1,541	3,997	2,147	3,202	9,346
合計	379,330	36,673	37,817	5,654	80,144	56,768	27,466	55,333	139,567

2. 観覧者数

	企画展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		個人	割引券	団体・割引	無料券			
4月	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	66	182	29	32	487	452	276	1,524
6月	249	630	102	334	1,664	1,244	469	4,692
7月	203	680	108	268	1,883	938	674	4,754
8月	142	1,476	168	515	503	1,290	722	4,816
9月	157	730	153	276	991	841	585	3,733
10月	118	398	39	179	3,865	1,084	507	6,190
11月	102	446	57	145	838	928	638	3,154
12月	56	226	14	55	214	695	234	1,494
1月	127	684	98	179	516	1,100	433	3,137
2月	92	517	88	151	856	954	521	3,179
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,312	5,969	856	2,134	11,817	9,526	5,059	36,673

	コレクション展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		別納券	個人	団体・割引	無料券			
4月	0	5	133	68	26	610	36	878
5月	66	44	264	110	628	910	298	2,320
6月	249	4	265	248	1,664	1,244	469	4,143
7月	203	2	331	167	1,892	1,123	704	4,422
8月	142	4	1,052	513	504	1,303	722	4,240
9月	157	1	556	299	1,030	929	585	3,557
10月	118	0	236	150	3,866	1,144	507	6,021
11月	102	2	315	155	875	1,261	649	3,359
12月	56	0	184	69	216	947	240	1,712
1月	127	0	449	191	516	1,100	433	2,816
2月	92	1	370	193	864	1,198	521	3,239
3月	0	3	235	56	66	727	23	1,110
合計	1,312	66	4,390	2,219	12,147	12,496	5,187	37,817

3. 企画展観覧者数

名称	会期	日数	観覧者数
絵本原画展きかんしゃトーマスとなかまたち	平成26年5月24日～7月21日	51	10,970
美しい日本のデザインMade in Japan 50's-60's	平成26年8月2日～9月23日	47	8,549
藪内佐斗司彫刻展	平成26年10月4日～11月17日	39	9,344
美少女の美術史	平成26年12月13日～平成27年2月16日	54	7,810
合計			36,673

4. パスポート会員数一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1,667	1,668	1,617	1,599	1,554	1,508	1,510	1,518	1,527	1,522	1,499	1,455

収支概要

■収支概要

センター運営費	22,293
指定管理委託費	322,821
展覧会事業費	53,571
企画展示費	51,179
常設展示費	2,392
教育普及費	1,347
教育普及(誘客促進)費	571
調査研究費	2,195
情報提供事業費	1,095
美術品保存修復事業費	0
センター利用促進事業費	1,000
合 計	404,893

※2月補正額

企画展	9,283
常設展	1,220
パスポート	3,660
目的外使用料	3,103
合 計	17,266

※図録販売収入など雑入は含まず

島根県芸術文化センター条例をここに公布する。

島根県芸術文化センター条例

(趣旨)

第1条 この条例は、島根県芸術文化センターの設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 多様で質の高い美術、音楽、演劇その他の芸術文化の鑑賞及び創造の機会を提供し、もって芸術文化の振興及び県民生活の向上を図るため、島根県芸術文化センター（以下「センター」という。）を益田市に設置する。

2 センターは、次に掲げる施設をもって構成する。

- (1) 島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）
- (2) 島根県立いわみ芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）

(業務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術に関する教育及び普及並びに調査研究に関すること。
- (3) センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）で別表第1に掲げるもの（以下「有料施設等」という。）を一般の利用に供すること。
- (4) 音楽、演劇その他の鑑賞を目的とした事業に関すること。
- (5) 芸術文化に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的を達成するために必要な業務に関すること。

(職員)

第4条 センターに、センター長その他の職員を置く。

(指定管理者による管理)

第5条 センターの管理は、法人その他の団体であって、知事及び教育委員会（以下「知事等」という。）が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第6条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 有料施設等の利用の許可に関する業務
- (2) 美術館の観覧料の徴収に関する業務
- (3) 施設等の維持管理に関する業務
- (4) センターを利用した第3条第4号及び第5号の業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する事務のうち、知事等が必要と認める業務

(指定管理者の指定の申請等)

第7条 知事等は、指定管理者を指定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、公募するものとする。

2 第5条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に事業計画書その他規則及び教育委員会規則（以下「規則等」という。）で定める書類を添付して、知事等が定める期日までに知事等に提出しなければならない。

(指定管理者の指定)

第8条 知事等は、次の各号に掲げる基準をいずれも満たすもののうち、センターの管理を行わせるのに最も適した団体を候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書の内容が、住民の平等な利用が図られるものであること及びサービスの向上が図られるものであること。
- (2) 事業計画書の内容が、複合施設としてのセンターの効用を最大限に発揮させるものであること。
- (3) 事業計画書の内容が、施設等の適切な維持管理を図ることができるものであること及び管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) 当該団体が、事業計画書に沿った管理を安定して行う財政的基礎及び人的能力を有するものであること。

(事業報告書の作成及び提出)

第9条 指定管理者は、規則等で定める日までに、センターの管理の業務に関し、規則等で定める内容を記載した事業報告書を作成し、知事等に提出しなければならない。

(業務報告の聴取等)

第10条 知事又は教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対し、その管理の業務又は経理の状況に関し定期に又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第11条 指定管理者が前条の指示に従わないとき、その他指定管理者の責めに帰すべき事由により当該指定管理者による管理を継続することができないと認めるときは、知事等はその指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部の停止を命じ、又は知事若しくは教育委員会は期間を定めて管理の業務の一部の停止を命じることができる。

2 前項の規定により指定管理者の指定が取り消され新たな指定管理者がセンターの管理を行うまでの期間又は指定管理者が管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられた期間におけるセンターの管理は、必要に応じて知事又は教育委員会が行うものとする。この場合において、次条から第18条まで、第23条及び第24条の規定中指定管理者の権限とされているものについては、知事又は教育委員会の権限とする。

3 第1項の規定により指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じて、知事等はその賠償の責めを負わない。

(開館時間等)

第12条 センターの開館時間は、午前9時から午後10時までとする。

2 センターの利用時間は、次の各号に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定めるところによる。

- (1) 美術館 午前9時から午後5時30分まで
- (2) 芸術劇場 午前9時から午後10時まで

3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、開館時間又は利用時間を変更することができる。

(休館日)

第13条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、これを変更することができる。

- (1) 毎月第2火曜日及び第4火曜日（美術館にあっては、毎週火曜日）
- (2) 12月30日から翌年の1月3日まで

2 前項第1号の規定にかかわらず、同号に規定する日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日当たるときは、その翌日以降の最初の休日でない日を休館日とする。

（平17条例39・一部改正）

(利用の許可等)

第14条 有料施設等を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 指定管理者は、有料施設等の利用の目的、方法等が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないものとする。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。
- (2) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団の財産上の利益になるおそれがあると認められるとき。
- (3) 長期間にわたる継続利用により他の利用を妨げるおそれがあると認められるとき。
- (4) センターの施設又は設備を損壊するおそれがあると認められるとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの管理に支障があると認められるとき又は規則で定める事由に該当すると認められるとき。

3 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

(許可の取消し等)

第15条 指定管理者は、前条第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）が、次の各号のいずれかに該当するとき、又は天災地変その他センターの管理上特に必要があるときは、許可を取り消し、同条第3項の規定により許可に付した条件を変更し、又は利用の中止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則等の規定に違反したとき。
- (2) 前条第3項の規定により許可に付した条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。

(利用料金)

第16条 利用者は、有料施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に支払わなければならない。

2 利用料金は、指定管理者が認めた場合を除き、第14条第1項の許可をするときに徴収する。

3 利用料金は、指定管理者にその収入として収受させる。

4 利用料金は、別表第1に掲げる基準額に0.8を乗じて得た額から当該基準額に1.2を乗じて得た額までの範囲内の額で、指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。

(利用料金の減免)

第17条 指定管理者は、公益上特に必要があると認めるときは、利用料金を減免することができる。

(利用料金の不還付)

第18条 既に納入された利用料金は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 利用者が、その責めに帰することができない理由により有料施設等を利用することができなくなったとき。
- (2) 指定管理者が、センターの管理上特に必要があるため第15条の規定により利用の許可を取り消したとき。
- (3) 利用者が、利用開始の前で指定管理者が定める日までに利用の中止を申し出たとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第19条 利用者は、有料施設等の利用の権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(観覧料)

第20条 美術館に展示する美術品等を観覧しようとする者（次に掲げる者を除く。）は、別表第2又は別表第3に定める観覧料を納付しなければならない。

- (1) 未就学児
- (2) 常設展（常設展示室における展示をいう。以下同じ。）を観覧しようとする小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒並びにこれらに準ずる者

(観覧料の減免)

第21条 教育委員会は、公益上特に必要があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料の不還付)

第22条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(指定管理者の指示)

第23条 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、センターを利用する者に対し、当該利用する者が遵守すべき事項に関し必要な指示をすることができる。

(入館の制限)

第24条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、センターへの入館を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊するおそれがある者
- (2) 他人に危害を加え、又は迷惑になる行為をする者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、センターの管理上支障があると認められる者

(損害賠償)

第25条 指定管理者又はセンターを利用する者は、故意又は過失により、センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊し、又は滅失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(秘密保持義務)

第26条 指定管理者若しくは指定管理者であったもの又は第6条の業務に従事している者若しくは従事していた者は、その業務に関して知り得た管理上の秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

(原状回復義務)

第27条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は第11条第1項の規定により指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理をしなくなった施設等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事又は教育委員会の承認を受けたときは、この限りでない。

2 利用者は、有料施設等の利用が終わったとき、又は第15条の規定により許可を取り消され、若しくは利用の中止を命ぜられたときは、その利用した有料施設等を原状に復し、又は搬入した物件を撤去しなければならない。

(センター協議会)

第28条 センターにセンター協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会は、センターの運営に関しセンター長の諮問に応ずるとともに、センター長に対して意見を述べる機関とする。
- 3 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15人以内とする。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第29条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則等で定める。

(罰則)

第30条 知事は、詐欺その他不正の行為により、観覧料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料を科することができる。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。ただし、次項及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

2 第8条に規定する指定及びこれに関し必要なその他の行為は、この条例の施行前においても第7条の規定の例により行うことができる。

3 センターの供用開始の日以後の利用に係る有料施設等の利用の許可に関し必要な準備行為は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前においても行うことができる。

(供用開始)

4 センターは、知事が別に定める日から供用を開始する。

(知事が別に定める日＝平成17年10月8日)

(経過措置)

5 施行日から前項に規定する供用を開始する日までの間は、第12条、第13条及び第28条の規定は、適用しない。

附 則（平成17年条例第39号）

この条例は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定は、公布の日から施行する。

別表第1（第3条関係）

1 施設の基準額

(1) 大ホール等

区分			基準額					
			午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後10時まで	午前9時から 午後5時まで	午後1時から 午後10時まで	午前9時から 午後10時まで
大ホール	1階席 及び 2階席	平日	円 30,640	円 40,860	円 51,070	円 61,290	円 81,720	円 102,150
		土、日曜日 及び休日	36,760	49,030	61,280	73,540	98,060	122,580
	1階席	平日	20,430	27,240	34,050	40,860	54,480	68,100
		土、日曜日 及び休日	24,510	32,680	40,860	49,030	65,370	81,720
小ホール	平日	8,170	10,890	13,620	16,340	21,790	27,240	
	土、日曜日 及び休日	9,800	13,060	16,340	19,600	26,140	32,680	
スタジオ1			4,620	6,160	7,700	9,240	12,320	15,410
スタジオ2			950	1,270	1,590	1,900	2,540	3,180
大ホール大楽屋1			2,070	2,760	3,460	4,150	5,530	6,920
大ホール大楽屋2			2,070	2,760	3,460	4,150	5,530	6,920
大ホール中楽屋1			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋2			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋3			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋4			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール小楽屋1			580	780	970	1,170	1,560	1,950
大ホール小楽屋2			580	780	970	1,170	1,560	1,950
小ホール中楽屋1			760	1,010	1,270	1,520	2,030	2,540
小ホール中楽屋2			760	1,010	1,270	1,520	2,030	2,540
小ホール小楽屋1			580	780	970	1,170	1,560	1,950
小ホール小楽屋2			580	780	970	1,170	1,560	1,950
多目的ギャラリー			3,830	5,110	6,390	7,670	10,220	12,780

備考

- 1 入場料その他これに類する料金（以下「入場料」という。）を徴収して大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に、次に掲げる入場料の額（入場料の額に2以上の区分があるときは、そのうちの最高額）の区分に応じた額を加算した額とする。
 - ア 3,000円以下のもの 10割相当額（徴収する入場料の額が1,000円以下で、かつ、営利を目的としない場合にあっては、5割相当額）
 - イ 3,000円を超え、5,000円以下のもの 15割相当額
 - ウ 5,000円を超えるもの 20割相当額
- 2 入場料を徴収しないが営利を目的として、大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に10割相当額を加算した額とし、入場料を徴収し、又は入場料を徴収しないが営利を目的としてスタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 3 楽屋を他の用途に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 4 この表に定める利用時間を超えて利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（前3号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）に、1時間までごとに、当該基準額の1時間当たりの額を加算した額とする。
- 5 大ホール、小ホール、スタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを準備のために利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（備考第1号若しくは第2号又は前号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の5割相当額とする。
- 6 冷暖房期間（11月1日から翌年の3月31日まで及び6月1日から9月30日までの間をいう。）において冷暖房料を徴収する場合の基準額は、この表に定める基準額（前各号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の3割相当額とする。

- 7 休日とは、国民の祝日に関する法律に規定する休日をいう（(2)の表において同じ。）。
- 8 備考第1号から第6号までにおいて算出した額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

(2) その他

区分	単位	基準額
屋外施設	1平方メートルにつき1日までごと	7円

備考

- 1 「屋外施設」とは、前庭広場、中庭広場及び駐車場をいう。
- 2 屋外施設は、知事が定める用途に限り、利用することができる。
- 3 屋外施設を日曜日、土曜日又は休日に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に2割相当額を加算した額とする。
- 4 「1日」とは、午前9時から午後10時までをいう。

2 設備の基準額

種別	単位	基準額
舞台大道具及び小道具	1回1点につき	知事が定める額
舞台関係設備	1回1点につき	知事が定める額
音響関係設備	1回1点につき	知事が定める額
楽器	1回1点につき	知事が定める額
映写機	1回1点につき	知事が定める額
その他設備器具	1回1点につき	知事が定める額

備考 「1回」とは、午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで又は午後6時から午後10時までのそれぞれの時間帯における利用をいう。

別表第2（第20条関係）

区分		観覧料の額（1人1回につき）	
		個人の場合	団体（20人以上の場合をいう。）の場合その他教育委員会規則で定める割引制度に該当する場合
常設展	大学の学生又はこれに準ずる者	200円	160円
	その他の者	300円	240円
企画展		その都度教育委員会が定める額	

備考

- 1 「企画展」とは、常設展以外の展示で特別の企画に基づくものをいう。
- 2 常設展と企画展とを同日中に観覧しようとする者の常設展の観覧料の額は、この表に定める額の5割相当額とする。

別表第3（第20条関係）

区分	年間観覧料（同一人が1年間に常設展又は企画展を観覧する場合の観覧料）の額
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	1,500円以内で教育委員会が定める額
大学の学生又はこれに準ずる者	3,000円以内で教育委員会が定める額
その他の者	5,000円以内で教育委員会が定める額

島根県立石見美術館管理規則

平成16年11月5日
島根県教育委員会規則第29号島根県立石見美術館管理規則をここに公布する。
島根県立石見美術館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、島根県芸術文化センター条例（平成16年島根県条例第51号。以下「条例」という。）第29条に基づき、島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者の申請に関する書類)

第2条 条例第7条第2項の申請書は、指定管理者指定申請書（様式第1号）によらなければならない。

2 条例第7条第2項の教育委員会規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款、寄附行為、規約その他これらに準ずる書類
- (2) 法人にあっては、当該法人の登記事項証明書
- (3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の事業計画書及び収支予算書並びに過去2年間の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録又はこれらに準ずる書類
- (4) 役員の名簿及び略歴を記載した書類
- (5) 団体の概要を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める書類（平17教委規則14・一部改正）

(事業報告書の内容等)

第3条 条例第9条の規則等で定める日は、毎会計年度終了後60日とする。ただし、条例第11条第1項の規定により指定管理者の指定を取消された場合は、その取消の日から60日とし、その報告の対象となる期間は当該取消の前日までとする。

2 条例第9条の規則等で定める内容は、次のとおりとする。

- (1) 美術館の管理の体制
- (2) 美術館の管理業務の実施状況及び使用の実績
- (3) 美術館の管理に要した経費の収支状況
- (4) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し委員会が必要と認める事項

(観覧料の納付)

第4条 観覧料は、前納とする。ただし、委員会が特に認めた場合は、後納とすることができる。

(年間観覧券)

第5条 年間観覧料を支払った者に対しては、年間観覧券を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券を交付した日から起算して1年間とする。

2 年間観覧券の使用は、同一人に限るものとする。

(観覧料の減免)

第6条 次の各号に掲げる者（条例別表第2個人の場合の欄に該当する場合に限る。）が、美術館の展示する美術品及び美術に関する資料を観覧しようとするときは、条例第21条の規定により、条例別表第2個人の場合の欄に定める額（以下この項において「観覧料の額」という。）から当該各号に定める額を減免することができる。

- (1) 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者で、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する者 観覧料の全額
- (2) 前号に掲げる者を引率する教職員 観覧料の額の全額
- (3) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の身体障害者手帳、療養手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害者と判定された者に対して交付される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者（以下次項において「障害者」という。） 観覧料の額の全額
- (4) 障害者の付添人（原則として障害者の人数と同じ人数までに限る。） 観覧料の額の全額
- (5) 前各号に掲げるもののほか、委員会が特別の理由があると認める者 委員会が別に定める額

2 前項の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書（様式第2号）を提出し、委員会の承認を受けなければならない。ただし、前項第3号及び第4号に規定する者については、この限りでない。

(観覧料の割引制度)

第7条 条例別表第2に規定する教育委員会規則で定める割引制度は、次に掲げる事項とする。

- (1) 他の観光施設等の管理者等と共同で発行する共通割引券を利用して観覧する場合
- (2) 別に定める者が運営する交通機関を利用する者が、別に定める乗車券等を提示して観覧する場合
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の利用を促進するものとして特に必要と認める場合

(センター協議会)

第8条 センター協議会に関し必要な事項は、別に定める。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年教委規則第14号）

この規則は、公布の日から施行する。

様式第1号（第2条関係）

指定管理者指定申請書

年 月 日

様

所在地

申請者 名称

代表者氏名

印

島根県芸術文化センターの指定管理者について指定を受けたいので、島根県芸術文化センター条例第7条第2項の規定に基づき下記のとおり申請します。

記

団体名			
代表者職・氏名			
主たる事務所の所在地			
設立年月日	年 月 日	構成員の 人数	人
資本金			円
提携団体（他団体と連携して管理を行う場合に記入すること。）			

島根県立石見美術館観覧料減免申請書

年 月 日

様

所在地

（団体にあっては、主たる事務所の所在地）

氏名

申請者

（団体にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号（自宅及び勤務先）

下記のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。

記

観覧期日	年 月 日（ ）曜日		
展覧会名			
減免を申請する理由	<input type="checkbox"/> 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者が、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する場合 <input type="checkbox"/> 上記の者を教職員が引率する場合 <input type="checkbox"/> その他の場合 （ ）		
区分	正規の観覧料	※ 減免率	※ 減免後の観覧料
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	円× 人＝ 円	%	円
上記を引率する教職員	円× 人＝ 円	%	円
その他の者	円× 人＝ 円	%	円
合計			円

（注） ※印欄は、記載しないでください。

施設概要

■島根県芸術文化センター（島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場）

【所在地】 島根県益田市有明町5番15号
 【設計期間】 2001年4月～2002年7月
 【工事期間】 2002年11月～2005年3月

【設計】 内藤廣建築設計事務所
 【構造設計】 空間工学研究所
 【設備設計】 明野設備研究所
 【コンサルタント】

- 設計協力：江角彰宣・みずほ設計
- 舞台機構：シアターワークショップ
- 舞台照明：シアターワークショップ
- 舞台音響：唐澤誠建築音響設計事務所
- サイン：矢萩喜從郎
- 共同監理：島根県益田土木建築事務所

【敷地面積】 36,564.16㎡
 【建築面積】 14,068.15㎡
 【延床面積】 19,252.45㎡
 1階：13,313.01㎡、2階：2,893.78㎡
 地下1階：3,045.66㎡
 【建蔽率】 38.4%（許容：60%）
 【容積率】 52.6%（許容：200%）
 【用途】 美術館・劇場
 【規模】 地上2階 地下1階
 【最高高さ】 32.24m
 【構造】 RC造、一部PC、S造

【設備】

- 空調設備、空調方式
 ホール・美術館：単一ダクト方式
 事務・ホール楽屋：ファンコイルユニット、単一ダクト方式
 レストラン・ホール調整室：空冷パッケージ、全熱交換器方式
- 熱源
 冷熱源：吸収式冷温水機、ブライン冷凍機（氷蓄熱・追掛）、
 空冷ヒートポンプチラー方式
 氷製氷時は深夜電力利用（蓄熱製氷方式・ダイナミック型）
 温熱源：吸収式冷温水機、空冷ヒートポンプチラー方式、
 ボイラー方式
- 衛生設備
 給水：受水槽、加圧給水ポンプ方式
 給湯：楽屋・レストラン厨房＝中央式（ガス給湯器）、
 その他：局所式（電気温水器）
 排水：建物内＝汚・雑排水合流方式
 建物外＝合併浄化槽方式（放流水BOD 20mg/L以下）
- 電気設備
 受電方式：高圧3相3線6.6KV 1回線
 設備容量：6250kVA
 契約電力：1500kVA
 予備電源：高圧ガスタービン発電機 750kVA
- 防災設備
 消火設備：全館スプリンクラー設備
 （ホール舞台部：開放型、その他：閉鎖型）
 美術館展示室・収蔵庫＝ハロゲン化物消火設備
 （ハロンバンク登録）
 補助散水栓
 排煙：自然排煙、機械式排煙
 その他：自動火災報知設備、非常放送設備、誘導灯設備、
 非常用照明
 昇降機：乗用エレベーター、荷物用エレベーター
 特殊設備：水景設備（中庭）＝オーバーフロー循環方式・
 砂濾過方式

【施工】

- 建築：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 空調：新菱冷熱・電設サービス・技研設備特別共同企業体
- 衛生：新日本空調・吉村設備・角田工業特別共同企業体
- 強電：中電工・北陽・山代特別共同企業体
- 弱電：栗原工業
- 舞台機構：森平舞台機構
- 舞台照明：丸茂電機
- 舞台音響：ヤマハサウンドテック
- 非常用発電：東芝
- エレベーター：東芝エレベーター
- 浄化槽：アルファプランニングワーク
- 外構：大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 植栽：田部、大畑建設
- アスファルト舗装：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 屋根・外壁石州瓦：
 施工＝益田窯業
 製造＝益田窯業、木村窯業、シバオ
 瓦ファスニングシステム（外壁石州瓦取付）
 ＝シマムラ
- 外壁タイル：
 施工＝協和タイル
 製造＝株式会社 スカラ
- 特殊照明：ヤマギワ

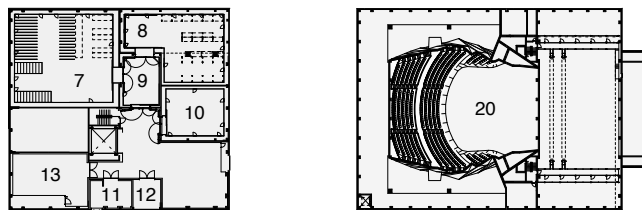
〔諸室面積一覧〕

石見美術館	
●展示前室	255.2㎡
●展示室A	388.8㎡
●展示室B	202.5㎡
●展示室C	307.8㎡
●展示室D	1091.5㎡
●美術館ロビー	498.2㎡
●搬入荷解スペース(展示倉庫含む)	282.5㎡
●美術館搬入口	178.6㎡
●収蔵庫1	290.3㎡
●収蔵庫2	189.0㎡
●収蔵庫前室	61.1㎡
●一時保管庫	101.2㎡
●修復室	35.6㎡
●隔離室	22.8㎡
●写真室	99.8㎡
●学芸員室	61.8㎡
●研究資料室	47.7㎡
共用・管理部門	
●応接室	43.0㎡
●センター長室	22.9㎡
●副センター長室	22.9㎡
●ホール館長室	22.9㎡
●事務室	170.2㎡
●講義室	102.1㎡
●ボランティア室	43.4㎡
●アテンダント控室	20.2㎡
●救護室	7.4㎡
●授乳室	10.3㎡
●AV機械室	23.6㎡
●中央監視室	47.3㎡
●清掃員室	16.8㎡
●回廊	1358.3㎡
●中庭広場	2079.3㎡
●美術館中庭	170.5㎡
●事務中庭	220.5㎡
●多目的ギャラリー	182.4㎡
●ミュージアムショップ	89.0㎡
●レストラン	182.6㎡

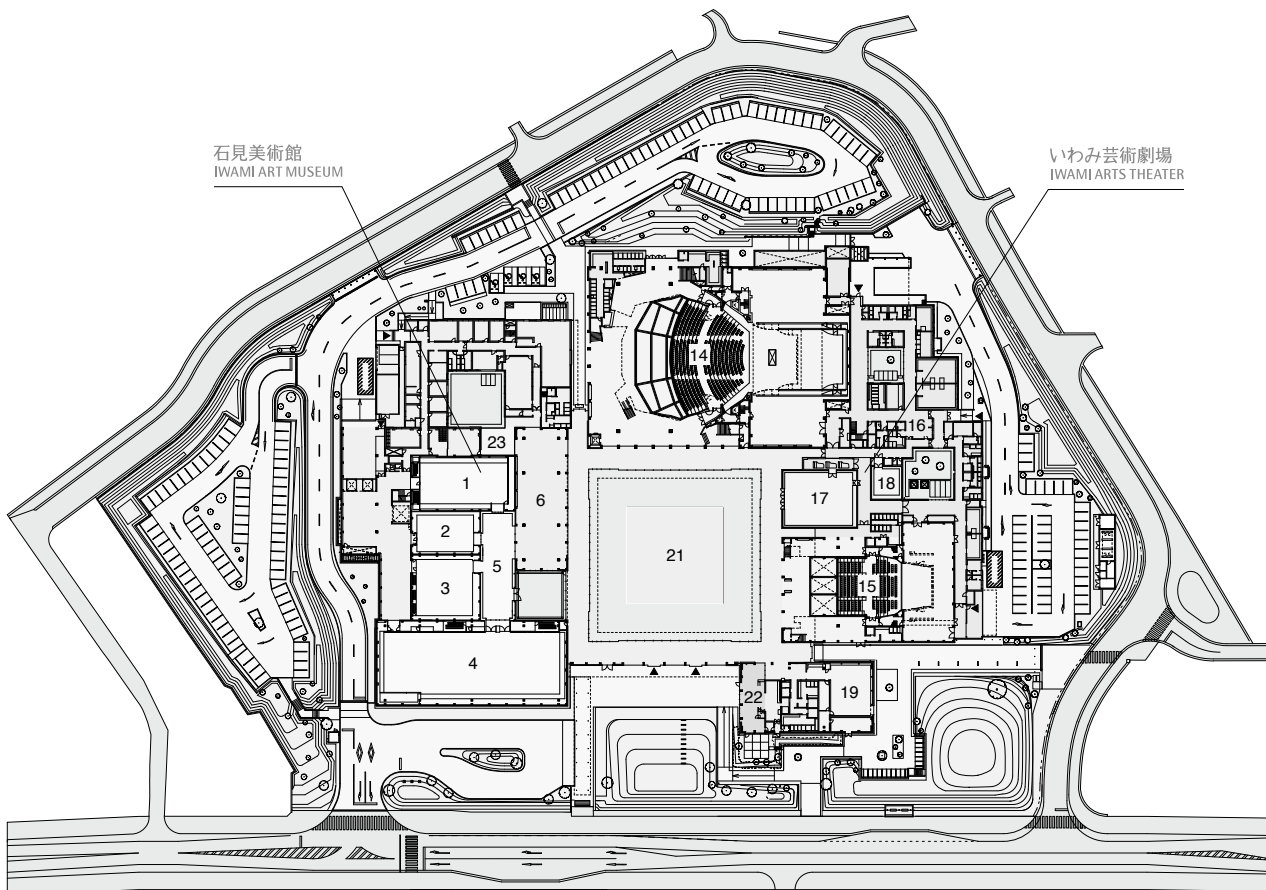
いわみ芸術劇場	
大ホール	
●ホワイエ 1F/2F	1436.5㎡
●客席 1F/2F	1153.3㎡
●舞台	1965.3㎡
●親子室	15.1㎡
●要約筆記室	14.7㎡
●調光操作室	29.8㎡
●音響調整室	24.4㎡
●奈落	138.7㎡
●オーケストラピット	89.9㎡
●客席ワゴン収納庫	197.7㎡
●小楽屋1	19.6㎡
●小楽屋2	19.6㎡
●中楽屋1	31.0㎡
●中楽屋2	30.9㎡
●中楽屋3	32.0㎡
●中楽屋4	32.0㎡
●大楽屋1	73.4㎡
●大楽屋2	74.0㎡
●楽屋サロン	106.7㎡
●主催者控室	10.3㎡
●楽屋中庭	86.6㎡
小ホール	
●ホワイエ 1F/2F	478.4㎡
●客席	394.6㎡
●舞台	416.6㎡
●調光操作室	27.3㎡
●音響調整室	26.8㎡
●投映室	12.9㎡
●小楽屋1	16.4㎡
●小楽屋2	16.4㎡
●中楽屋1	27.7㎡
●中楽屋2	27.5㎡
●ラウンジ	74.0㎡
●主催者控室	10.9㎡
●楽屋中庭	174.2㎡
●楽屋ロビー	43.0㎡
●楽屋事務室	15.8㎡
●スタジオ1	256.4㎡
●スタジオ2	70.9㎡
●ピアノ庫	42.4㎡
●スタジオロッカー室 1/2	14.1㎡

[平面図]

2F



1F



石見美術館

- | | |
|----------|----------|
| 1:展示室 A | 8:収蔵庫 2 |
| 2:展示室 B | 9:収蔵庫前室 |
| 3:展示室 C | 10:一時保管庫 |
| 4:展示室 D | 11:修復室 |
| 5:展示前室 | 12:隔離室 |
| 6:美術館ロビー | 13:写真室 |
| 7:収蔵庫 1 | |

いわみ芸術劇場

- | | |
|----------------|---------------|
| 14:大ホール | 21:中庭広場 |
| 15:小ホール | 22:レストラン |
| 16:楽屋 | 23:ミュージアムショップ |
| 17:スタジオ 1 | |
| 18:スタジオ 2 | |
| 19:多目的ギャラリー | |
| 20:大ホール 2 F 客席 | |

運営組織体制

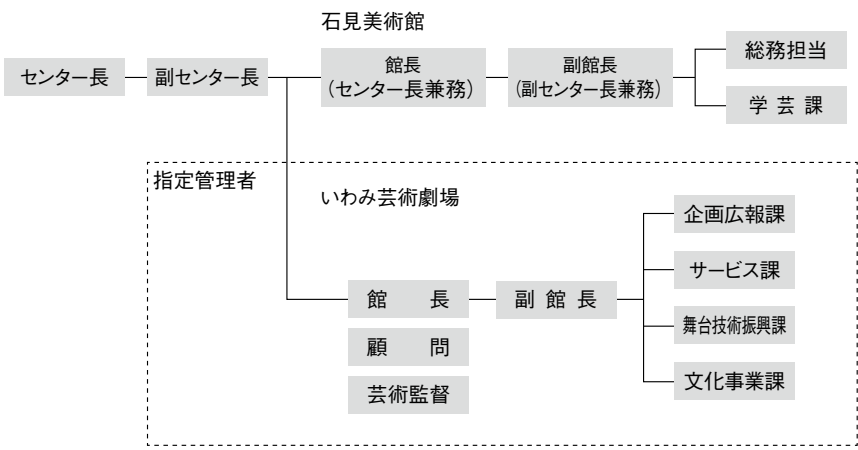
施設名称

島根県芸術文化センター(島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場)

組織体制

島根県芸術文化センター協議会
協議会委員(13名)

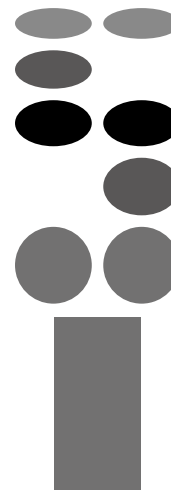
島根県芸術文化センター



シンボルマーク

このシンボルマークは、島根県を示すアルファベットの「S」と石見を示すアルファベットの「I」で構成され、また日本海の遠望を連想させる奥行き感も加味してデザインされたものである。アルファベットの「I」のオレンジ色のイメージは石州瓦の色を連想させるだけでなく、他の色との組み合わせで色彩豊かにすることで、美術館とホールの文化施設を晴れやかに謳い上げることをイメージさせる。

矢萩喜徳郎



利用案内

開館(利用)時間

石見美術館：10:00-18:30(展示室への入場は18:00まで)
 いわみ芸術劇場：9:00-22:00

休館日

石見美術館：毎週火曜日、年末年始
 いわみ芸術劇場：毎月第2火曜日及び第4火曜日、年末年始
 (火曜日が祝日の場合は、その翌日以降の最初の休日でない日が休館日)
 ※催しにあわせて休館日を変更する場合があります。

石見美術館観覧料

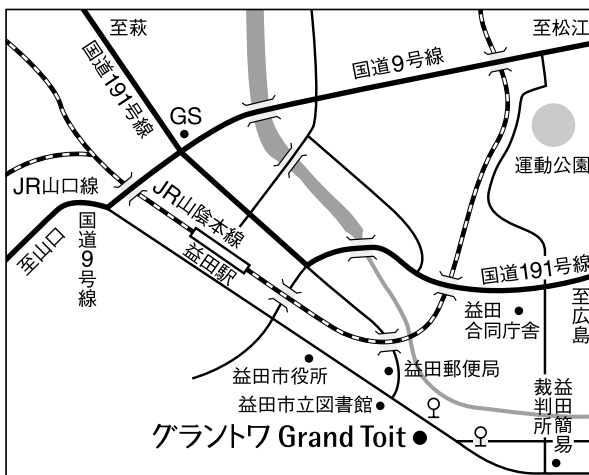
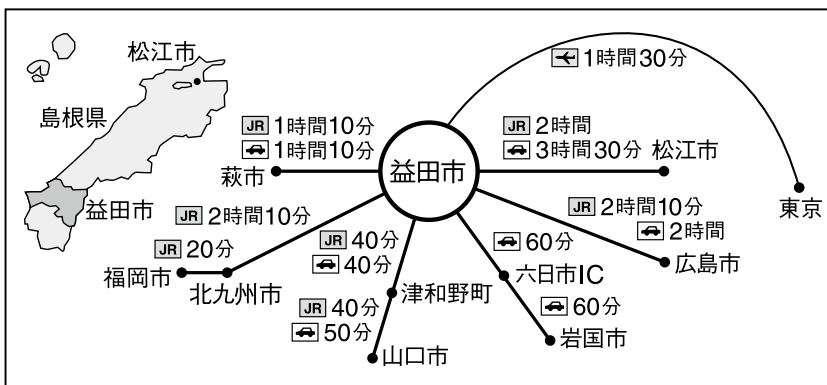
コレクション展：一般300(240)円/大学生200(160)円/高校生以下は無料
 企画展：一般 1000(800)円/大学生600(450)円/小中高生300(250)円
 ()内は20名以上の団体料金
 ・コレクション展と企画展とを同時に観覧する場合は、コレクション展の観覧料が半額になります。
 ・中高生(引率者含む)の学校教育活動による観覧は無料。(事前にセンターにご連絡下さい)
 ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保険手帳をお持ちの方及びその介助者は観覧無料。

いわみ芸術劇場利用料

センターへ直接お問い合わせ下さい。

交通案内

- ・石見交通バス「グラントワ前」下車 徒歩1分
- ・JR益田駅から 徒歩15分
- ・萩・石見空港から連絡バスJR益田駅まで 約15分
- ・浜田自動車道浜田ICから自動車 約50分
- ・JR新山口駅からJR益田駅まで特急 約90分
- ・◎駐車場あります(200台・無料)
- ・※ただし土日祝などイベント開催時は駐車場の混雑が予想されます。



平成28年3月31日発行

発行 **島根県立石見美術館**

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

TEL0856-31-1860(代表) FAX0856-31-1884(代表)

E-mail : zaidan@grandtoit.jp <http://www.grandtoit.jp>



島根県芸術文化センター
SHIMANE ARTS CENTER
石見美術館
IWAMI ART MUSEUM